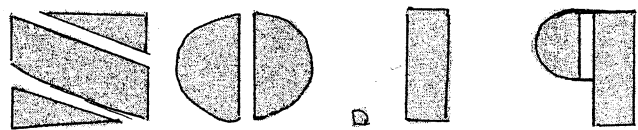
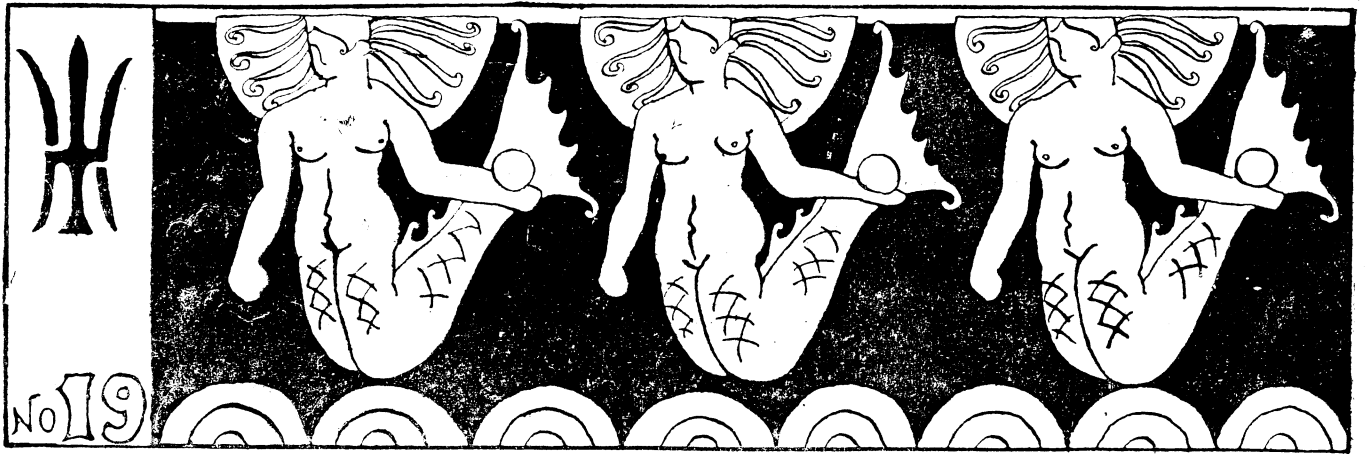


水泳



昭和八年八月一日發行

日本水上競技聯盟



目 次

守れ覇権を永遠に……………	全日本陸上競技聯盟會長 平 沼 亮 三	(3)
日本運動競技聯合の創立に就て……………	NSR顧問 田 畑 政 治	(4)
プール巡り(その三)新設の立教大學プール……………		(6)
指 導 欄		
水 球 の 研 究(完)……………	時 任 嚴	(7)
日本飛込界はどう進む可きか……………	來朝米國選手は斯く語る 柴 田 隆 司	(11)
春季學生水球リーグ戦を觀て……………	笹 島 彦 次 郎	(16)
策 戦 上 より見た 春季學生水球リーグ戦……………	時 任 嚴	(18)
本シーズン劈頭の躍進……………		(20)
水 泳 醫 事 瑣 談……………	NSB醫事部委員主任 太 田 正 隆	(23)
日本競泳發達史(10)……………	市 村 魁 山	(27)
更生を期待される女子競泳界……………	白 山 廣 子	(35)
女子競泳選手の合宿……………	太 田 正 隆	(36)
世 界 情 報……………		(37)
會 報……………		(40)

(表紙は日名子實三氏考案、創作)

緊 急 公 示

今 年 度 定 例 代 議 員 會 豫 告

- 日 時** 八月十三日(日曜)正午(選手權大會第二日)
- 場 所** 東京市麴町區丸ノ内ビルヂング九階精養軒に於て。晝食は粗餐用意あり、夕方より競技あるが故に是非定刻に御參集相成り度し。
- 議 題** 各加盟團體より御提出の分は八月五日迄に本聯盟に到着する様申送られたし。
- 注 意** 各加盟團體は必ず少くも一名の代議員を出席せしめられ度、若し已むを得ず欠席さるる場合には、本聯盟規約第十一條に依り、代理人を出されるか、或は全權を會長に委任せられるか、何れにしても規定の書式に依る委任狀を提出相成度し。



守 れ !!
霸 權 を
永 遠 に

全日本陸上競技聯盟會長 平沼亮三

過ぐるオリンピックに吾が水泳は一躍世界水泳界の王座を占めて仕舞つた。

會て故人見嬢が世界的選手となつた時偶々彼女はこんな告白をした事があつた、

自分が世界的選手になれたのは嬉しいけれど亦其の故に一つの大きな惱にぶつかつた。

即ち私は世界的選手だといふ自覺と共に此榮譽と面目を何としても維持して行かなくてはならぬ。

之には人知れぬ苦心が要るのでコーチに出ても練習をしても迂濶なことが出来なくなつた。私は何だか自分の自由を奪はれたやうな氣がする、と語られたが尤

もの事だと思つた。

卑近な例だがよくお金を儲けることよりも儲けたお金を減らさずに更にそれを倍加して確實に守りたてて行く事が難かしいと云はれる。

思ふに吾が水泳界の現状は丁度こんな位置にあるやうな氣がする。

幸に此の位置を守り立てるところか大會の都度輝かしい新記録を作つて國際記録を更新しつつあるのは誠に痛快の極みである。

又私共の日頃主張してゐるやうに一人の力強い選手を出す事はやがて多くの選手を生む素因ではあるが更に第二第三の後繼者の輩出によつて多數のよりよい選手を得ることが望ましい。

かくて水泳日本の名を名實ともに常に鐵壁のものとし度い。

日本運動競技聯合の創立に就いて

NSR 顧問 田 畑 政 治

我が國に於ける綜合運動競技團體と目される明治神宮體育會と大日本體育協會は其の組織團體は殆んど同一であるに拘らず、會の性質上前者は明治神宮體育大會の開催のみを掌り後者は國際オリンピック大會並に極東選手權競技大會のみを掌つて兩者の間に實際上何等の聯絡なく互に對立關係にあることは我が國運動競技界の統制並に健全なる發達の上から見て面白くないから内外に對し我が國の全運動競技を統轄代表すべき眞の綜合運動競技團體を創立する必要があるといふことは、吾が水上聯盟年來の主張であつたが、これがいよいよ具體化して本年五月二十日の在京代議員と理事との聯合協議會で正式議題となり「綜合運動競技團體の創立は現下の急務である。常務理事會はこれに就いて適當な方法を考慮し直ちに實行運動に移るべし」と決議され、同月二十二日、これに關する常務理事會が開かれ、この問題についての取り扱ひ方を私と松澤、西本兩君に一任された。依つて私は松澤、西本兩君と協議した結果、六月七日、日本庭球協會事務所で開かれた極東選手權大會に關する協議會の席上これを問題とすべきことを申し合せ、同日極東大會問題の協議終了後、私は水上聯盟を代表して

一、綜合運動競技團體は我が國に於ける各種アマター運動競技の各統轄團體 (Governing Body) を以て組織す

二、綜合運動競技團體は對内的には我が國に於ける各種アマター運動競技の各統轄團體を綜合統制し、對外的には我が國に於ける全運動競技を代表すことを以て目的とす

三、綜合運動競技團體は我が國に於ける綜合運動競技會である明治神宮體育大會を開催すると共に國際的綜合運動競技會である國際オリンピック大會並に極東選手權競技大會に選手、役員を派遣すること

四、綜合運動競技團體の中に明治神宮競技委員會、オリンピック委員會並に極東競技委員會を置く

(イ) 明治神宮競技委員會は明治神宮競技大會を開催するための實行機關にして本聯合の加盟團體中、明治神宮競技大會に行はるべき競技の統

轄團體よりの代表者を以て組織す

明治神宮競技大會の競技種目に關し未だ全日本を統轄して本聯合に加盟する團體なき場合には理事會の決議に依りその競技を代表すべき委員を選定するものとす

(ロ) オリンピック委員會は國際オリンピック大會參加に關する實行機關にして本聯合の加盟團體中來期の國際オリンピック大會に行はるべき競技の統轄團體よりの代表者を以て組織す前項の外、大日本體育藝術協會よりの代表者を本委員會に加ふることを得

(ハ) 極東競技委員會は極東選手權競技大會參加に關する實行機關にして、本聯合加盟團體中極東選手權大會に行はるべき競技の統轄團體よりの代表者を以て組織す

極東選手權競技大會の競技種目に關し未だ全日本を統轄して本聯合に加盟する團體なき場合は理事會の決議に依り其の競技を代表すべき委員を選定す

五、綜合運動競技團體を組織する團體よりの代表者を以て理事會を構成し理事會を以て綜合運動競技團體の最高決議機關とす

といふ基礎的條項を明示して綜合運動競技團體の設立を提唱し、出席者諸君の賛成と協力を求めた。當日出席してゐた全日本陸上競技聯盟の山本忠興、森田俊彦、大日本蹴球協會の鈴木重義、竹腰重丸、日本庭球協會の櫻井正光、大日本排球協會の原六郎、大日本バスケットボール協會の淺野延秋、李相伯、大日本ホッケー協會の山崎愛介 (日本水上競技聯盟よりの出席者は私と松澤、西本兩君) 諸君は満場一致日本水上競技聯盟の提唱の趣意に賛成し、右七團體の名に於て全日本スキー聯盟、日本漕艇協會、全日本アマチュア拳闘聯盟、全日本體操聯盟、大日本スケート競技聯盟、日本國際馬術協會、日本ラグビー蹴球協會に招待狀を發し、同月十五日午後六時から日本水上競技聯盟事務所で右問題に關する懇談會を開いた。同日は全日本陸上競技聯盟の平沼亮三、山本忠興、森田俊彦、山口六郎次、日本水上競技聯盟の田畑政治、松澤一鶴、西本龍三、鶴岡英吉、大日

本蹴球協會の鈴木重義、竹腰重丸、全日本スキー聯盟の村上敏郎、伴素彦、日本庭球協會の櫻井正光、日本漕艇協會の宮木昌常、郷隆、大日本ホッケー協會の山崎愛介、全日本アマチュア拳關聯盟の泉勤次郎、大日本排球協會の原六郎、全日本體操聯盟の森秀、大日本バスケットボール協會の淺野延秋、李相伯、大日本スケート競技聯盟の交野政邁、青木末弘、日本國際馬術協會の大島又彦、石田眞七、日本ラグビー蹴球協會の久富達夫、吉武文人及び日本乗馬協會の本多重平の諸君二十八名出席、水上聯盟提出の趣意書並に基本規約について協議した結果、滿場一致その趣旨に賛成し「各種アマチュア運動競技の全國的統轄團體を以て内外に對し日本の全運動競技を統轄代表すべき綜合運動競技團體を創立すべし」と決議して、出席者全員、並に日本庭球協會の櫻井正光君より推薦した同協會理事針重敬喜君、大日本ホッケー協會の山崎愛介君より推薦した同協會長永井直邦君、大日本排球協會の原六郎君より推薦した同協會副會長佐々木道雄君、全日本スキー聯盟の伴素彦より推薦した同聯盟庶務委員小川勝次君、全日本體操聯盟の森秀君より推薦した同協會副會長河本禎助、大谷武一兩君を以て綜合運動競技團體創立期成委員會を組織し山本、森田、松澤、宮木、郷、櫻井、鈴木、李、石田の諸君と私が實行委員に擧げられ直ちに實行運動に入るべきことを申合せた。實行委員は十六日午後四時半から水上聯盟事務所で第一回委員會を開いて協議の結果、關係方面への交渉に先き立ち綜合團體の規約條項を作成する必要があるといふことに意見一致し、二十二日、二十七日と三回にわたつて會合の上、實行委員會としての草案を得た。依つて山本、宮木兩君と私は二十八日午前十一時文部省に山川體育課長を訪問し、實行委員會作成の規約につき説明の後綜合運動競技團體設立に關し意見の交換を行つた結果、これに關する文部當局の方針が明瞭となつたのである。

かくして六月三十日午後六時から日比谷美松百貨店貴賓室で第二回の綜合運動競技團體創立期成委員會の總會を開いて、名稱を日本運動競技聯合とし規約條項の原案を滿場一致、決定更に下記の創立に關する申合せに方針に關する申合せをなし、創立實行委員會の事務所は當分、日本水上競技聯盟に置き、事務は私が之を擔當することにして、いよいよ關係各方面への交渉に入ることになつた次第である。然して神宮競技關係の柔道、劍道、弓道、射撃、卓球の代表者の賛成と協力を得ることが出來たから光輝ある日本運動競技聯合の結成は確定的となつたのである

創立に關する申合

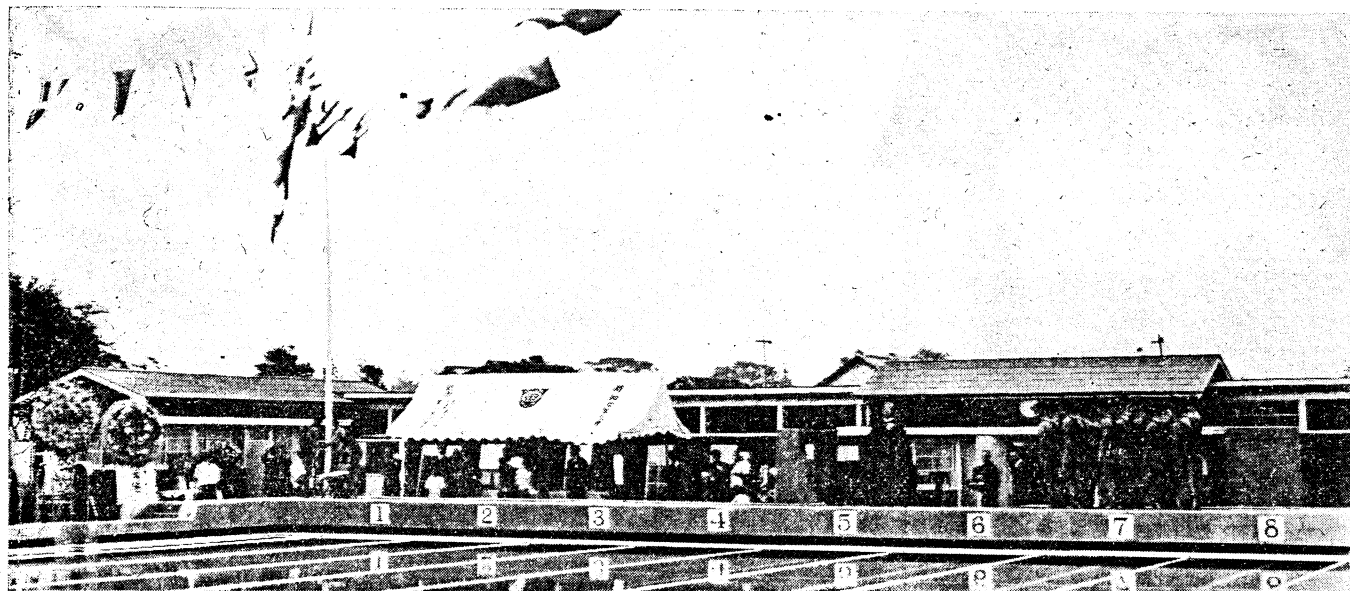
- 一、文部當局と會見懇談の始果、體育審議會の答申に依り、文部當局の實現を期待する綜合運動競技團體は「地域單位の體育團體を基礎とせず各種目別の全國的統轄運動競技團體を基礎として構成す」といふ根本方針に於て吾等の計畫するものと同様で何等相反するものに非ざる事が明瞭となりたるが故に、今後は文部當局とも密接なる連繫を保ち目的遂行の萬全を期すること
- 二、吾等は如何なる妨害も壓迫をも飽迄之を排撃し一致結束して目的の實現に邁進すべきことは勿論なりと雖、大日本體育協會並に明治神宮體育會が我が運動界に功獻せる偉大なる功績に對しては滿腔の敬意を表し、兩團體への折衝に際しては特に深甚なる敬意と誠意とを披瀝して之を行ふべきこと
- 三、役員を選定等人事問題にこだわつてこの光輝ある目的の達成に支障を來たさしむるが如きは最も恥ずべき行爲として嚴に相戒むべきこと
- 四、創立さるべき綜合運動競技團體に加盟すべき團體については其の資格を嚴密に審査すべきこと

方針に關する申合

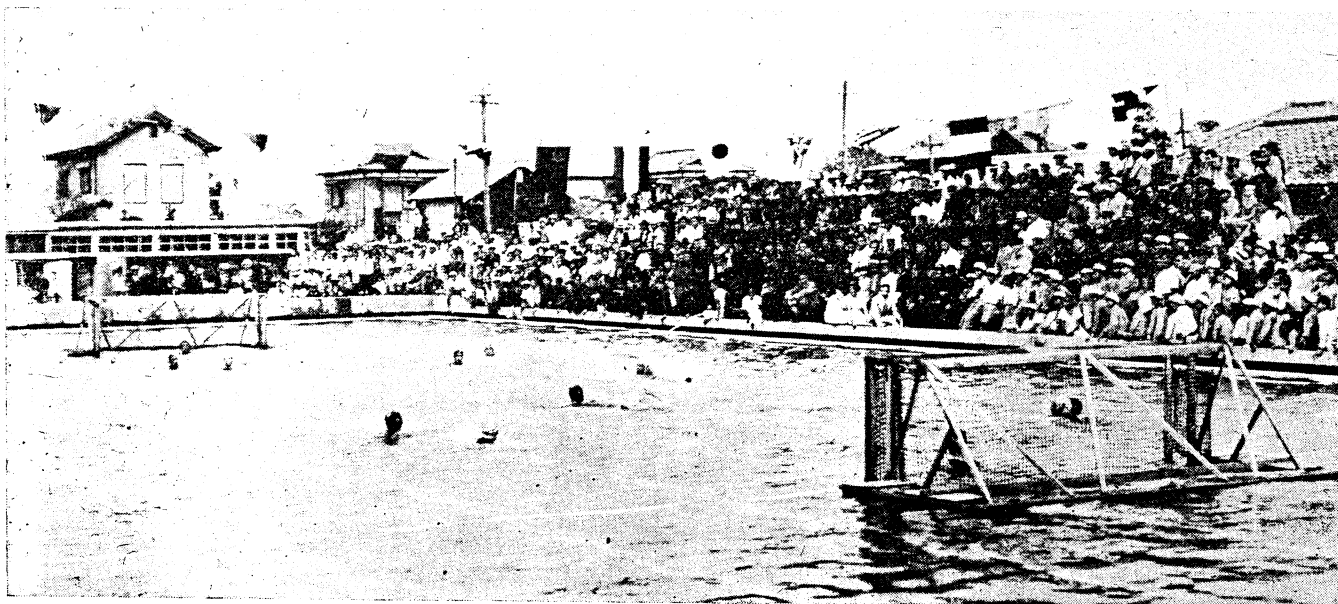
- 一、國際オリンピック大會を東京に開催せんとするの運動あり、近くは五年後東京に於て汎太平洋競技大會或は亞細亞選手權競技大會の開催さるべきこと確定的なる現情に鑑み政府、東京市其の他公私有力者の援助を得て營利本位に非ざる綜合競技場の建設に努力すべきこと
- 二、室内運動場の設立は運動競技の發達のため必要ならんと共に、各競技團體の事務所を同一建築物の中に置くことは相互の連絡と融和のため目下の急務なることを痛感し、各方面の援助を得て各競技團體の事務所を含む體育館の建設に努力すべき事
- 三、我が國運動界の氣分を明期にするためスポーツマン俱樂部の設立を助成すべきこと
- 四、我國に於てはやゝもすれば職業運動競技者又は職業運動競技指導者なるの故を以て、之を輕蔑排斥せんとする風あるため、アマチュアの假面の下に職業競技又は職業的指導を行はんとする傾向を助成しつつある現情に鑑み、善良にして優秀なる職業競技者並に職業指導者の尊敬すべき所以を明確にし、其の存在はアマチュア運動競技の職業化を防止し運動競技の健全なる發達に必要ありとの理由の下に職業運動競技の健全なる發達の助成に努力するに吝ならざること

プール巡り (その三)

新設の立教大學プール



昭和八年六月二十四日、プール開に於ける立教大學々長の挨拶

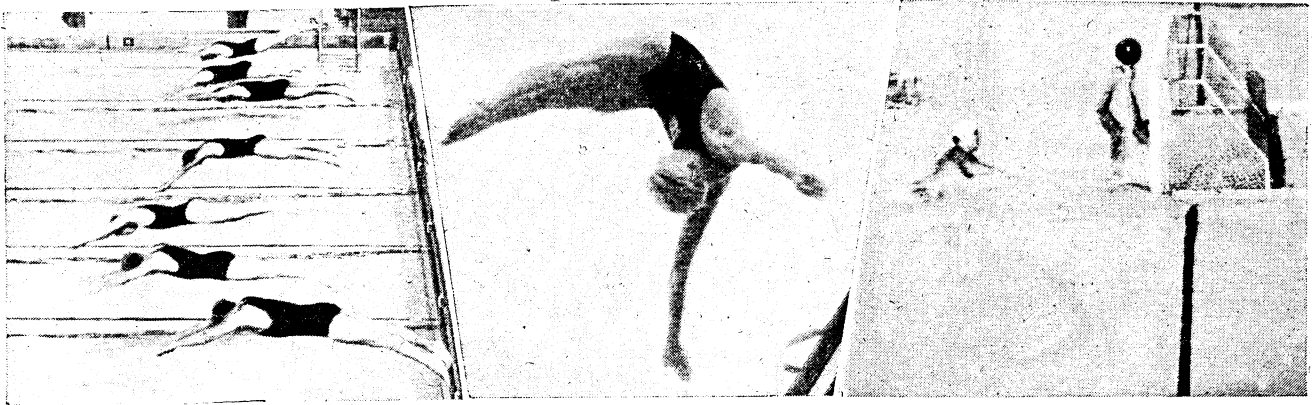


プール開当日行はれた立教大學(黒)對横濱外人(白)の水球試合



場所 東京市豊島區長崎町同大學野球場隣
構造 長さ50米、幅20米、九コース、
水深兩端1米30種、中央1米80種、
經費 三萬圓

起工 昭和八年四月十五日、竣工、同六月十日
用水 水道水、給水六時間、挑水四時間、
日本水上競技聯盟公認、六教大學水泳部所有



指 導 欄 水 球・飛 込・競 泳

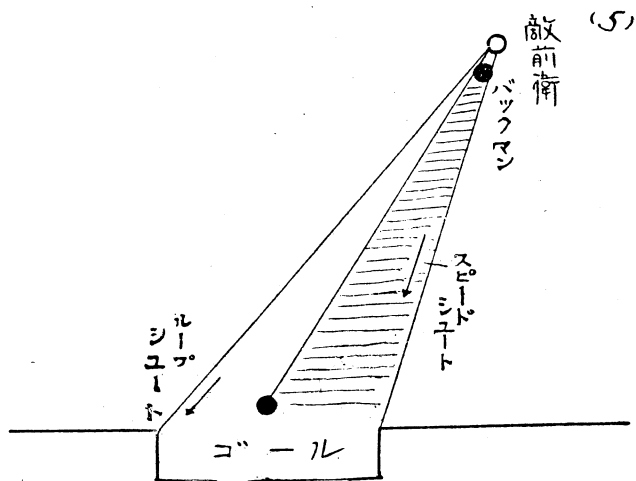
水 球 の 研 究 (完)

時 任 嚴

(オ リ ン ピ ッ ク を 中 心 と し て)

團 體 的 防 禦 技 術

先ずキーパーとバックマンの連絡防禦より始める。敵前衛が既にボールを得てゴールを狙ひタックルの間に合わない時にはそのバックマンとキーパーとはゴールを分擔して守るのが有利である。バックマンはマークしてゐる前衛の總べてのシュートを阻止する事は不可能でありキーパーも又總べてのシュートを捕へる事は困難である。然しながら若しこの両者が協力しゴールを分擔して守る時は如何なるシュートも阻止する事が出来る。圖の如き位置よりのシュートの場合キーパーにとつて止るに困難なのは右隅のスピードシュートと左上隅のループシュート

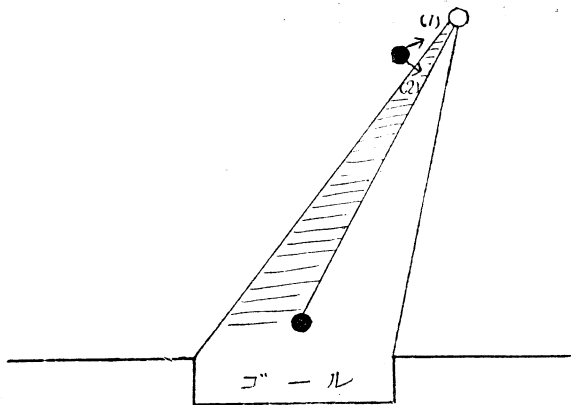


である。キーパーはこの内の一つを初めから豫期して止める事はさしてむづかしくはないが、兩者を同

同時に警戒して、そのいずれをも止める事は甚だ困難である。扱てこれをバックマンの立場から見るならばループシュートは絶対に叩く事は出来ないがスピードシュートなら手易く叩く事が出来る。それ故バックマンが右隅を狙ふスピードシュートを確實に叩く事が出来るとすればキーパーは主に左上隅に来るループシュートを警戒すれば足りる事となり、その他の場所に来るものは殆んど居ながらにして捕り得るものゝみである。然もバックマンのこのプレーは甚だ簡単なのであつて單にシュートせんとする敵の前に體を高く保つのみでもキーパーの捕り難い程のスピードシュートは少くとも體に當つてしまふのである。まして叩球の技術に熟達してゐるならば右隅を狙ふスピードシュートは殆んど總べて叩く事が出来る。斯くの如くキーパーとバックマンが互ひに連絡を保つてゴールを守る時は個々の技術では守り難い如く見ゆるシュートも勞少くして完全に防禦する事が出来るのである。尙ほ日本に於てはこれまでは眞のループ・シュートを得意とする選手が無かつた故、キーパーのこれに対する研究は全然等閑に附せられてゐたが洪獨チームに於ては同じモーションよりこのスピード・シュートとループ・シュートを任意に出し得るために非常なる威力を發揮してゐたのであるから、我が國に於てはキーパーがそれに対する研究を特に積まなければならぬのは勿論の事、攻撃側も又大いにループ・シュートを研究しなければならぬわけである。

以上述べたキーパーとバック・マンとの連絡防禦法は前衛とガードが各々一人づゝの場合であるが防禦側が攻撃側より少数の場合、即ち小數防禦に於けるバック・マンのキーパーとの連絡防禦法は前のものとは全然異なる。即ち前者は every man mark の時の敵がシュートせんとしてタツクルの間に合はない場合であり、次に述べようとするものはソフト・プレーの基礎をなす兩者のコンビネーションに於けるバック・マンの動きとキーパーのそれに対応する處置なのである。圖の如く敵前衛が既にノー・マーク

(6)

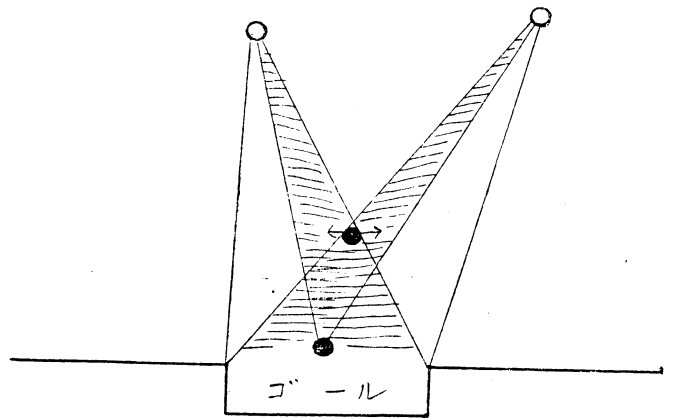


になつてゴールを狙ひバック・マンが内側に居るけれどもシュートの球道からはずれてゐる場合は矢(1)の如くに敵に向つて突進せずに球道へ最短距離をもつて矢(2)の如くシュートを叩く用意しつゝ突進しなければならぬ。何となればこの場合はタツクルは絶対に間に合もない故叩球に行かなければならぬからである。

斯くするとシュート側は咄嗟の場合ゴール左側を狙ふシュートはそのバックマンに叩かれそうな気がする故、心理的にも右隅を狙つてシュートし勝ちである。故にキーパーはこの場合主に右隅を注意すれば足りる事になるのであつてバック・マンが右から来る場合も左から来る場合もこの原則は變らぬわけであり、マークが左右いずれかに届した場合も又當はまる。従つて結局は敵がゴールを狙つた際のバックマンの位置によつてキーパーはそれに対応した各々異つた防禦法を採る必要があるわけであり、斯くすれば豫めそのシュートの球道を豫期する事が出来るわけである。

次に攻撃側二人にバックマン一人の場合を研究して見るならば、この時は圖の如くそのバック・マンは兩敵前衛とゴールポストを結ぶ線の交點よりやや後方に位置するのが最もよい。そしてボールが兩者の間にパスされる毎に多少左右に移動して手を高く

(7)



挙げシュートを牽制する。斯くすれば圖の如く兩前衛は黒くぬられた側は蓋われた気持ちになり咄嗟の場合大體に於て反對側にシュートし勝ちであり、従つてキーパーはパス毎に注意する側を變へて防禦すれば大部分のシュートは止め得るのである。そして攻撃側が慎重に構へて多くパスを交換して時間をとる時は既に歸へりつゝある味方が到着して、every man mark に歸へり得るのである。であるからこの場合のバック・マンとキーパーは少しでもシュートまでに敵に餘分な時間を費やさせ、一つでも多くパスをさせれば成功した事になるのであつて、若し失敗しても元々であり、甚だ樂な気持ちで思ひ切つたプレーが出来得る故、反つて敵をおとし入れる事が出来る。そしてこの際の球の移動につれてのキーパーの處置は最も研究を要する事なのである。敵の兩前衛が極端にゴールに近付いて來てバック・マンとキーパーが重なるような場合になつた時はバック・マンはゴールに入いつてキーパーと半分づゝ、ゴールを分擔して守るが有利な事もあり、或る時は斯くして敵を十分ゴールに誘き寄せ、急に飛び付いて奇功を奏する事もある。

前述の防禦法を完成した時は所謂小數防禦は極めて圓滑に行われる。即ち敵が味方の一人を抜いて突進して來た時はゴールに近い味方は先ず何より先にゴール附近三四米の所に集まる。この時は極く側方やゴールに比較的遠い敵はマークを離してもよい。大體前に述べた如き位置で第一にボールを持つてゐる敵を最も警戒してシュートを阻止しゴールに近い敵を注意しつゝボールの移動に連れて相手を變へて若しシュートされたならば、そのボールを叩くのである。この際キーパーはバック・マンに常に言葉で注意を與へつゝ球の移動とその時々バック・マンの位置によつて適當に警戒の重點を變へてゴールを防禦する。この小數防禦を有効ならしめるためには

次の二条件が必要である。即ちその原因となつた最初に抜かれた人は何より先にゴール指して全速力で歸へる事であり、防禦してゐる人はその味方が歸へつて来るまでよく持ちこたへておく事である。抜かれた人が速かに歸へつて来ないではいつ迄も小人數で持ちこたへる事は對等の實力では困難であり、又その反對にいくら速く歸へつて来ても、せめて二つ三つパスを餘分にさせて多少は支へてくれなくては切角急いで歸へつても意味をなさない。この抜かれる事は良い事とは云へないが然し多少は危険を冒さなくては前衛としての十分な思ひ切つたプレーはむづかしいのであるから我々は抜かれぬように極力心掛けると同時に、斯くの如き事は有り勝な事として寧ろその防禦法により大いなる關心を持つ必要があると云はなければならぬ。

故に抜かれた人は先づ第一に全速力で味方ゴール指して歸へり手近かの敵をマークした後順次に every man mark に歸へるのである。every man mark の際の防禦は忠實でさへあれば左程むづかしいものではないが防禦側が攻撃側より少い所謂少數防禦は可成複雑であり、事實むづかしいのであつてこの少數防禦をなし得るのがバック・マンのバック・マンたる所以であり、前衛にとつてはこの技術が未熟では眞に後顧の憂なく安心して防禦を委せ得るバック・マンと云ふ事は出来ず、この技術によつてこそはじめて前衛の思ひ切つた活躍を要求する事が可能となるのである。オリンピックに優勝したハンガリーチームの猛烈果敢なドリブル・ダッシュの蔭にバック・マンのこの見事な防禦技術のあつた事に注意しなければならぬ。この少數防禦は地味であり、成否或ひはその意志の有無の如何にかゝらず一寸見た目にははつきり現れぬ故、餘り重視されない傾があるが實は豫想以上に甚大な効果があるのであつて或ひは前衛の奔放な活躍となり、バック・マンの果敢なドリブル・ダッシュとなり、或ひはキーパーのフラインプレーとなり、最大の危機が一轉して直ちに絶好の攻撃機會となる等、枚擧にいとまがない。

all-round と expert に就いて

眞に敵を恐怖せしむるプレーヤーたるためには如何なる敵をも破り得る決定的の専門技術を持つ事が必要であるが、それにも増して如何なる技術をもこなし得る萬能が重要である事に注意しなければならぬ。この事は前にも機會ある毎に述べて来たが、次にまとめて研究して見る。如何なる優秀な技術もそれのみを扁用する時は相手は豫めそれに對して備へ

るようになり、又その技術に慣るに従つてその威力は次第に減するものであるが、他のそれに對する技術と併せ用ふる時は得意の技術はその威力を數倍にして表わす事が出来る。そして又反面その優れた技術に對しては相手はそれに總ての警戒を拂わなければならぬ故、他の相手する技術には注意が少なくなり従つて・それらの技術の効力を表わす餘地を生ずる事になる。例へばゴール前のよく狙つたシュートの得意な選手が時に relay shot を交へ、バック・マンで叩球を特に得手とするプレーヤーが突然タックルにて相手を狼狽せしめる如き、又強力なシュートにフェイントを加へる時は益々その威力を増し、數回フェイントで脅かした後は案外單純なスピードシュートが効を奏する事あり、ゴール左隅を狙ふシュートの得意な人がキーパーのそれを豫想した逆をついて右隅を狙つて奇功を奏する場合、然も右隅を脅かした後はキーパーの注意が反對側へも取られるために得意の左隅は前よりも破り易くなるが如きである。

そして斯くの如きは個人技術のみでなく團體的技術についても云ひ得るのであつてハンガリーチームを研究する時は最も容易に理解する事が出来る、團體攻撃システムの所に述べた如くハンガリーの停止前衛活用法の如きは實にその妙諦に達したものと云ふの外はない。即ちゴールに近い時、ガードがシュートをのみ主に警戒してゐる時にその裏をかいてよく狙つて良いパスをし、止むなくガードがパスの防害に行けば突然シュートしてパスとシュートと二つながらに最大の能率を擧げてゐるのである。その外團體的に云ふならばハンガリーの一選手が得意然として「自分は總べてのポジションをなし得るよう訓練されてゐるが、然しフルバックをやるのが最も得意だ」と公言してゐるた如く彼等は何れのポジションをもなし得るよう總べての技術を修得し、その上にフオーワードなりバックワードなりの専門的技術を磨いて七人集りさへすれば完全な一チームを組織し得るよう訓練されてゐるのである。

それ故ハンガリーチームにあつては何かの事情で前後衛が入れ換つても立派に何らの滯滞もなく必要なタクテックスを遂行する事が出来、後衛が前に出たゞめ前衛の動きの邪魔になつたり、前衛が後に下つたために守り切れなかつたりする事は絶對にない。これがハンガリーの最大の強味である。若し去るオリンピックに於けるハンガリーの大勝の原因を問われるならば根本的のものとして自分はこの事を擧げる。獨乙、ハンガリーの兩チームの選手の技術

を個人的に比較するならば何人もその間に優劣を付ける事は困難であろう。然もなほ斷然たるスコアでハンガリーが優勝するを得たのは前述の點で獨乙に數等優つてゐた故である。「all-round の上にたてられた expert」これがハンガリー水球チームをして今日あらしめた指導原理であつて、我々も又このレベルに到達せんがためには、この黄金律に従ふの外はないのである。

all-round とは萬能であり、多藝であり、技術的に扁せざる事を意味する。そして前述の利益の外に將來に大成する事、技術的に行つまりの來ない事、そして進歩が停滯しないために重要である事を忘れてはならない。一二の技術にのみ専念する時は最初は確かに進歩が早い如く思われるが、早く完成されるだけ、そして技術が一方に扁より今一段上への發展が困難であり、それらの一の技術の對策が研究された時は直ちに行詰りが來るのである。一方に扁せずして總べての技術を修得する時は相手と場合に應じて異なるものを用ふる事が出來、従つて自己の技術が未完成の状態にある事を自覺する機會多く常に新なる感激を以て技術の研究に没頭する事が出來る、停滯は直ちに退歩を意味する。そして感激のない所に眞摯なる研究は有り得ない。故に進歩せんと慾するならば我々は常に處女技術の開拓に向つて努力しなければならぬ。然もこの努力の當然の結果が、all-round であり萬能である。そしてこれを尙ほ一步進める所に多くの技術の内から特に自己の體質氣質に適合した技術が現われるにちがひない。これが即ち「all-round の上にたてられた expert」であり大成の状態である。「all-round の上にたてられた expert」これは我々の技術の最高の目標であり理想であらねばならぬ。

結 論

以上述べて來た如く我が國の水球は寧ろ今後の精進に待つべきもの多く、その技術はオリンピックの結果が示す如く残念ながら未熟の域を脱してゐないと云わなければならぬ。然も自分はその將來に對して絶大なる期待を持つものである。何となれば將來に大いなる期待を懸け得る多くの好條件が悲觀論の材料となる惡條件を償つて尙ほ多くの餘あるからである。最も大いなる悲觀材料たる體格的に恵まれざる點も五尺七八寸以上を揃へれば足りるのであるから改善の餘地は十分にある。然も特に日本人に恵まれたスピードと耐水力は鋭き出足の條得によつて十二分にこのハンデキャップを補ひ得るであらう。足

の速い事が陸上團體球競技の第一必要條件である如く泳のスピードと強さはそのみでも水球に強くなり得る絶對的の好條件であらねばならぬ。又斯技が今後益々普及發達するであらう事は現在の競泳の如く還境に恵まれてゐる點よりして必然的である。近き將來に於て各プール、海水浴場にゴールとボールが浮び小中等學校に於ても盛んに斯技の樂しまれる時代が來るにちがひない。その他日本人に特有なる器用さ、或ひはスポーツに對する熱心にして眞面目なる研究慾は必ずや良きコーチの輩出となり、我等に適した新しきテクニク、タクテックスが編み出されるであらう。自分はこの二三年の進歩振りを今後も續け得るならば案外近き將來に於て日本水球も世界的の水準に達し得るであらう事を確信する。競泳は既に世界制覇の偉業を成し遂げたのである。我々の水球も全水上競技の完全なる世界征服の完成を助けんがために新たなる熱を以て起たなければならぬ。オリンピックによつて得難き貴重なる經驗を與へられ來るべき機會を目指して更生の第一步を將にふみ出さんとする水球技の健全なる發展を切に希望するものである。

第19頁よりつゞく

自がばらばらなプレーしてゐる故、自己に總べての點で劣る相手にさへ敗れるが如き事になつたのである。明大、日大はまとまつた意志がないのみでなく、何を作すべきかを知らないようである。然し兩チームとも成員の素質に於ては他チームに卓越してゐるのであるから操球術に長じ攻撃の方法を會得した將來は最も大きな期待を掛け得るものがあるから兩チームが眞の水球を研究される事を希ふは獨り吾人のみではないと思ふ。

以上略述した如く策戦上より見るならば水球にも甚だ深い感興があり、又實際プレーする身になつても個人競技とは異つた面白味が生ずるのである。そして水球の如き團體競技に於ては策戦或ひは攻撃システムは特に重要なのであり、これを無視しては眞の水球を味ふ事は不可能であると同時に絶對に強チームは作り得ない。タクテックスがテクニクと平行する所に眞に團體競技の進歩があると云わなければならぬ。



日本飛込界はどう進むべきか？

來朝選手監督達は斯ふ説く

柴田 隆 二

前 お き

五月號にシマイカ、スミス兩選手及監督ラルフ、サマリル氏の日本の飛込界に對する忌憚のない意見を「日本飛込界に残して行つた彼等の言葉」として所載することが出来たのであるが、茲に更らに角度を變へてもう一度、彼等の意見を——日本の飛込のオリンピックに對して取るべき道、日本の飛込設備、新種目の要點——等に就いて彼等の觀察する所や彼等の意見を腹藏なく叩き出してひとまとめにして見やうと思ふ。

従つて前號の座談會の續きであり、今や卓子を圍んで飛込の意見が熱し切つた言葉となつて、イザンダーにバイクに二回半に宙返りを打つて説かれてゐる最中である。

設備、著書に就いて

日本の飛込設備の點に就いてはたしかに彼等は喫驚したやうであつた。なぜならば九月二十三日の正午、霖雨のうち横濱に上陸した選手達は、上陸第一歩そのまま神宮プールへ連れて來られたからであつた。いきなりあのガツシリした神宮プールの飛込設備を見せられて、日本つてこんな所かと驚いたに違ひない。それに就いてラルフは斯ふ言つてゐる。

「神宮プールは飛込の設備の點に就いては世界最強の飛込チームを收容するに充分である。日本で斯ふ言ふ設備を持つてゐることは日本の飛込界のために誠に喜びに堪へない。あの十米の左右に七半、六、五米の固定臺と三米のスプリングを具へ、更らに傍らに陸上練習機（タンブリングベルト）を見ることが出来たのは愉快なことであつた。

此の陸上練習機に就いてであるが日本の飛込はもつと是を有効に使用すべきである。一體陸上練習機は新種目や自信のない種目を行ふ場合、失敗の懸念や恐怖に依つて殺がれる注意力を専ら飛込そのものに集中させて、それによつて飛込に對する感覺と自信を確りと掴ませるのであつて、初心者は勿論のこと飛込の上達には絶対に必須のものであることは今

更言ふまでもないことである。

しかしながら日本で行はれてゐる陸上練習機（主に神宮プールのこと）を見て、その使用法がなほ當を得てゐない點も見受けたので一寸御注意までに述べて見やう。

先づ第一に神宮プールでは地面にマットを使用してゐるたがあれは砂を使ふべきである。常に掘り返して軟く保つた砂を少くとも三、四呎の深さに入れて置かねばならぬ。なぜならば實際の飛込の時と同じ様な氣持で行ひ、足から入水する飛込の場合などには必ず足先を伸して着地しなければならないからである。

此の場合トゥダンスの靴などを用ひるのも一方法と思はれる。

それから飛込の著書の事に就いて何か適當な本は？との質問を受けたが、現にアメリカに於て飛込に關する二三の著書が出版されてゐるが、それは初心者爲のものとか學校の先生の爲に著述された極く概念的な上すべりのもので、それに依つて技術上の指導を得る事が出来る様な専門的價值のあるものは今の所見當らない。

今度日本に來て氣の付いた事の一つに水着がある。ダイバー諸君實に噴飯しそうな不態な水着姿で平氣でゐるのには驚いた。この事は甚だ瑣細なことの様であるが決してそうでない。姿の美しさを身上とする飛込に於て不態な水着は飛込そのものをスポイルにするものであり、また一面から考へて其の國飛込競技の發達に伴つて飛板（スプリングボード）水着の研究も行はれて居るべきであつて、その意味からも、水着の問題についてもつと關心を持つて取扱はるべきであらうと思ふ。

日本の男のダイバー諸君の多くがダブル、スカートの水着を着てゐる様であるがあれは可笑しい。アメリカでも海水浴場などでは男の人がきることもあるが、大體あれは女の人が着るべきものであつて、男の人はシングルの股の上部で一文字に終つてゐる水着が飛込競技用とされてゐる。若し諸君が御希望

なら歸つてから見本を送りしてもよいが。』

高飛込の踏切、其他に就いて

昨年全日本選手権大會後、數日間日本のインタカレッヂの選手達は此の來朝三氏に手を取つて指導して貰ふ機會を得たのであるが、彼等の指導の熱心さには、教へられる日本選手達は全く感動させられた。その飛込の失敗の原因がどこにあるか説明する爲めに先づ自ら眞平に水に落ちて見せて、その原因を指摘説明すると言つた風で、これでは教はる者もどうしても躊躇するわけには行かない。しかしながらその見なれないコーチ振りに就いて、また技術上の點に就いても色々聞ただして見たい山程の質問を持つてゐるので茲にその質疑應答を一括して記して見やう。

問「高飛込の踏切(固定臺)の場合、その足の踏下し方に、

イ、爪先より下し次いで踵をつける。

ロ、爪先と踵と同時に足の裏全體で平らに踏む、

ハ、踵より踏むで次いで爪先を下す、

以上の三つの場合を考へることが出来るが、そのいづれを取るべきか？」

答「爪先から降りる自然の型が一番良いのであつて、ロの場合は絶対行はず、ハの場合は稀に行ふ者がある。

尙ほ最後のステップ(即ち踏切る一步手前のジャンプ)はスプリングと異つて無理に高さを取らなくてもよい。無理に高さを取らうとすれば肝心の踏切と飛出しに力がなくなつてしまふ。一體踏切りの高さは、助走のスピード、肩頭手の使ひ方、飛出しの角度等によつて充分に生む事が出来るものである。尙ほもう一つ注意して置きたいことは踏切りに際し

餘り膝を曲げぬことである。」

問「走前逆飛の踏切りに兩足踏切り(繼ぎ足)と片足踏切りとあるが、どちらが優つてゐるであらうか？」

答「片足踏切りは兩足に比して距離を取る事は出来るがまた一方不安定の怖れがある。兩足踏切りは片足に比して距離は出ないが確實性を持ち入水が定まる長所を有してゐる。

それで此の二つの踏切りを實際に採點する場合に

於ては、入水の優美な事により兩足踏切りの方が價值以上の點を得る場合が多い。

例へば、此處にAのダイバーが片足踏切りを以て相當の距離とフォームを持つた前逆飛を行ひ、約四十度位の角度をもつて入水したとする。一方Bダイバーが兩足踏切りを以つて距離はAよりも近いけれども、八十五度位の角度で綺麗な入水をしたと假定する。此の場合本來ならば、Aは8點、Bは5點位の得點を得べきであるのに、實際の採點は、Bは9點、Aは6點位の得點を得る場合が多い。

此の事はジャッジに取つても非常に幻惑され易い弱點であ

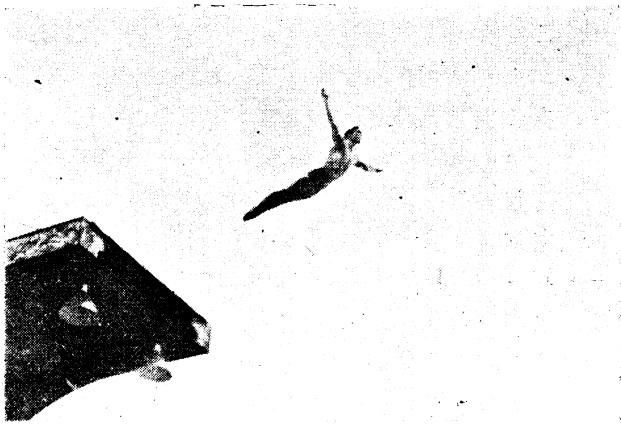
るから充分注意すべきであらう。兎に角片足踏切りにしても、兩足踏切りにしても、人に應じてまた飛込の種類によつて適宜に撰ぶべきである。しかし走前踏切後飛込群だけは單に片足踏切りを用ふべきである。」

問「一、高飛込の立踏切(固定臺)に於て、飛込の種類によつて體を前又は後に倒して踏切つてもよいか、

二、高飛込のイザンダー、バツクの踏切り方、體を



シマイカの後宙返一回(3米)



兩足踏切によるスミスの走前逆飛(十米)

もつて行き方の要點。

三、走前宙返り二回半の要點とその練習方法に就いて知り度い。

答「一、高飛込の立踏切の時、飛込の種類によつて體を適宜に前後に倒すことは必要である。その飛出しの角度、手の振り上げ方は飛板の踏切の所に述べてあるのと同じである。

二、茲にイザンダーを飛ぶ其の本筋とでも言ふべき急所を簡単に述べるならば、先づ斯ふ言ふことが出来る。

- (1) 首を眞直に保つて踏切る(飛出しの時肩に力の凝らぬ事)
- (2) ヘッド・スローを掛ける。
- (3) 水が見えたら首を元の位置に戻す(ヘッドスローに依つて廻轉し初めた體を是れで止める。此を通常ブレイキと言つてゐる)
- (4) 徐々に首を後に倒し入水の見當を付ける
- (5) 入水する(入水のコツは飛板の所に述べてある)

バツクの要領は踏切りは殆ど眞直ぐに、即ち85度位いの角度に飛出し、

次に臺との距離を保つ爲に脚を引き、
第三にヘッド、スローを掛け、
それからイザンダーの場合と同じく首を直して見當をつけて入水するのである。

三、宙返り二回半の要訣は、その形が抱へ形でも、蝦形でも最初の一回を思ひ切つて小さく、早く、二回目は少し緩めて廻し、開く用意をする、然して後、あと半回を體を落しながら廻して、入水の段取りになる。

十米から二回半の宙返りを立派に飛ぶことは成程難かしいことに違ひない。しかしその至難の技にも易々と行き得る段階がある。その段階的練習法こそ高飛込上達にはなくてはならぬものである。

例へば十米の二回半宙返りを完成するには、先づ

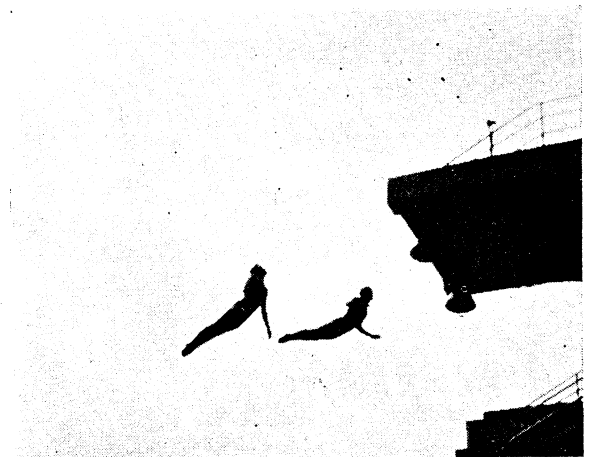
一米の飛板で、二回を完成、二回半を試み
三米の飛板で、二回を完成、二回半を完成を経て始めて十米で行つて成功するものである。

それ故に、飛込選手に高飛込、飛板飛込の得意、不得意があつても、高飛込のみのまた飛板飛込のみの選手があるべき筈のものでなく、日本にその珍現象を見るのは、高飛込の選手が飛板の基礎を疎かにし、また飛板飛込の選手がその飛板に依つて得た基礎を十米でやつて見る勇氣を缺く事によるのである、此の點日本飛込選手諸君よ特に心せられよ。』

飛板飛込個々に就いての要訣

問「飛板の後一回半(伸切形)のコツに就いて」

答「先づ踏切り、飛出しは後一回と大差なく、唯だ後一回よりも少し早目に宙返りのモーションを起す。宙返りは最初の一回は急速に廻し後の半分は水面迄に徐々に廻して行く。



後宙返一回半スミス・シマイカのダブルダイブ(十米)

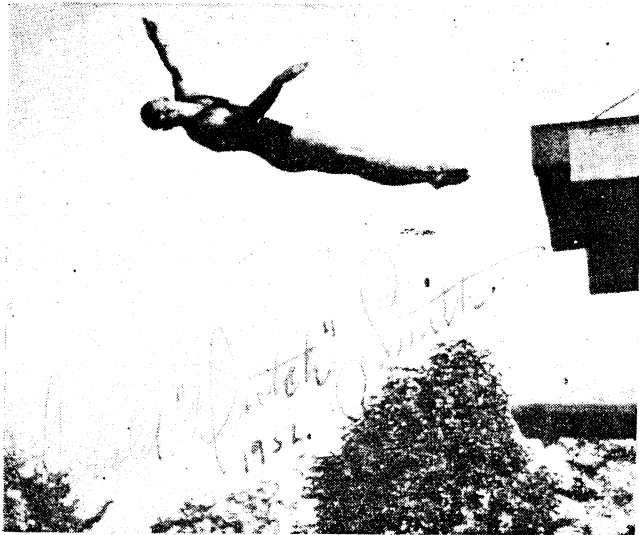
問「吾々(日本のダイヴァー)にとつてフル、ツイスト(一回捻)は如何にも苦手だつた、未だにコナレ切れないであるがその缺點はどの點にあるであらうか

答「捻り物のうちにもハーフ(前飛半捻り)とフル(前飛一回捻り)とは捻り方の要領が全々異つて来る。

一、ハーフは前逆飛と同様に飛出し、頂點を掴むで徐々に水面に至るまでに捻りを完了し、バツクと同じ要領にて入水する。

二、フルは前逆飛の如く飛出し、バーか何かを越す様な氣持で體を眞直ぐに延して前方に乗出す捻り方は最高點までに $\frac{1}{4}$ 、落ちかゝりに素早く $\frac{1}{2}$ を廻して、ブレイキを掛け、水面まで残り $\frac{1}{4}$ を落しながら廻して行く。

故に一回捻りは氣持の上からは一回捻ると思はず捻りをやるものと考へるべきである。



スミスの一か撻り(三米)頂點より落ちかゝりに素早く3/4撻り終らんとす

従來の日本選手諸君のやつてゐた一回撻りの缺點を擧げ

- (1) 充分の高さと距離を取らないうちに撻りを掛ける事
- (2) 體にゆるみがある(足の先から手の先まで一直線にせよ)
- (3) 胸と肩とのみに無暗に力が凝り過ぎ、體が反り過ぎる
- (4) 手を上、外方に伸ばさず、に肘を體に引きつけて撻る傾向がある。

但し今述べた一回撻りの外に水面まで徐々に完了して行く撻り方もある。」

問「今度の新種目の中にある走前蝦飛半回撻りに就いての要領を伺ひたい。」

答「蝦形は早く淺く伸す必要がある、そして回さうとする方の手を、上、外方に突き出し、横倒しになるのを防ぐ爲めに右廻りの者は眞下よりもやゝ右に、左廻りの者は其の反對に入水點を取るべきである。撻るには必ずバイクを伸してから撻る事、伸すに際して反り出ない様に心掛くべきである。」

問「前踏切後逆飛半回撻(イザンダー、ハーフ)とバイク、イザンダー半撻りとに就いてのコツを。」

答「イザンダー、ハーフには二つの解釋がある。

- (1) 完全なるイザンダーを完了して後撻るもの、日本、加奈陀、獨逸、及び自分は (Summeril)

この解釋を支持してゐる。

- (2) イザンダーの半ばで撻りを掛け、板と同じ高さに落ちて來るまでに撻りを完了するもの、Frea cady. Brandsten. Smith はこの解釋を支持してゐる。

現在アメリカに於て第一の解釋によるイザンダー・ハーフを非常に美しく完璧に飛ぶ人はロールス嬢、ただ一人あるのみである。

バイク、イザンダー半撻りはバイクを淺く伸した後、前蝦飛半撻りとすべて同様に撻り入水すべきである。」

次回のオリンピックに對して日本飛込界の取るべき道

眞白い卓子の上をラルフは先刻より萬年筆の軸で1936の數字を頻りに按じてゐる。ラルフの力の籠つた聲が緊張してゐる吾々の耳朶に眞劍に曇み込んで



走前踏切後逆飛半回撻



左 イザンダー半で撻をかける
右 板の高さ迄に撻り終る

來る。

「1936年——それこそ次のオリンピックの行はれる年である。それに向つて日本飛込界は何を爲すべきか? それを説いて今迄述べたことの結論としたい。アメリカに於て、いや全世界に於てダイビングは一九一五年に始めて無から出發した。

然して一九三二年迄に斯くの如き大なる進歩發展を遂げた。此の發展と同様に一九三六年より一九四〇年迄の間には、更らに今までと同じ速度と確實性を持つた發達を遂げるであらう。

今日に於ける日本の飛込はアメリカのそれに較べてどう考へても十年は後れてゐる。而して次のオリンピックまでには未だ四年あるとは言へアメリカは此の間に於ても同様な進歩を遂げるであらうから次

のオリンピックまでには結局日本は一四年追つかねばならぬわけである。その上前に述べた飛込界そのもの進歩趨勢を考へる時、其の頃には今の飛込は非常に単純なものになつて、もつと複雑なものが現れてくるだらうから、日本の飛込界の負擔は盛々重くなる、日本の飛込界こそ、そのつもりで精進しなければならぬ。

將來の日本の飛込に於て最も重要なのはインドアの設備を完全にすることである。1米より10米までの設備によつて毎日絶へざる練習を続けなければならぬ。假令一週間でも止めてゐると恢復するまでには無駄な勞力を費さねばならぬから必ず毎日此を行ふことが何よりも重要である。斯くすれば少くとも1936年迄には日本はアメリカに次ぐダイビング國になる事が出来るであらう。

今日本に來て日本選手達の重大な弱點を見つけた。それは足を伸すことに注意を怠つてゐることである。その缺點が女子のダイバー達にはかへつて見られないのは、女子のダイバーは伸すやうに初めから教育されてゐるからである。それはただ注意の問題であつて絶えず足先を伸す練習をすることによつて特殊のものでない限り立派に所謂「ゲタ」を直すことが出来るのである。新たに飛込を始めやうとするもので、いくら言つても足の伸びないものは非常に氣の毒ではあるが飛込を止めさせろ、何故ならばそれは三年も四年も無駄な努力をさせるよりはましだ。

日本に於ても將來は11歳から13歳位の少年の時より練習をはじめ。ダイバーが表はれる事であらう、アメリカに於ける一例として

シマイカは1925年に飛込を始め當時18歳であり、スミスも矢張1925年に飛込を始め当時16歳であつた。そして二人とも始めた時は何も出来なかつたが各々三年の後にはオリンピックに出場した。それと同じやうな例として、

フランク、カーツは1930年に於ては飛込は相當に飛んだが、高飛込は出来なかつた。デイゲナーも此の時カーツよりはいくらか良かつたがまだ極めて未熟なものであつた、しかしながら1932年、カーツは19歳、デイゲナーは20歳にして驚くべき上達をなした。此の短期間に於て彼等がとんな努力で、どんな方法で是を成し遂げたか、日本選手諸君よ見へて見よ、それこそ諸君の行ふべき道に他ならない。

現在の日本のダイバーも今夜此處で説いた「飛込はどうあるべきか」の原則によつて、新しいダイバー達に指導と激勵を與へ、更に努めて若いダイ

バーを見つけ出して是を教育すべきであり、決して自發的に出て來るのを待つてゐてはならない。

現在のダイバーにズバメけたものが出れば、將來に於てはそれ以上のものがドンドン生れるものである。あの飛込界の多士濟々たるロスアンジェルスもその適例であつて、たゞ一人デイゲナーがその例外のやうに見えるが、それも決して例外でなくあれはピンクストーンがデトロイドに居るためである、そのピンクストーンも亦會つてはロスアンジェルスに居た人だつた。

現在のダイバーは或は腹から落ちたり、脊中から入水したりする事もあるであらう、しかしそれは將來若いダイバーの爲になり、礎になることである。なぜならば吾々が如何にして、其の様になるかを體得し、且つ此を教へるからである。

11歳から13歳位いの日本の若いダイバー達が筈の様に出揃つた時、初めてアメリカに戈を交へ覇權を争ふ事が出来るであらう。それが爲にはインドアに依る絶えざる練習効力とそれから飛込を一般によく普及すると言ふ事が何よりも必要な事であり、この問題の解決こそ日本飛込界の進むべき道であると思ふ。

コーチする者の重要なステートメント

ラルフが此の問題を一番最後に特に力を入れて説いたのには、何か意味があるのかも知れない。いつも私をつかまへては、日本ではどうしてプロフショナルコーチを雇はないのかとよく尋ねてゐた所から見ると、餘程日本のコーチャーになりたかつたらしい。それは兎に角として彼の熱心に説いた所を書くことにする。

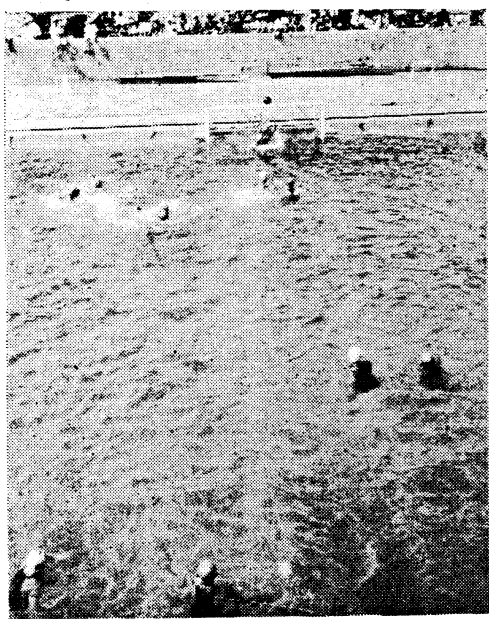
「例へば、自分の教へてゐるダイバーが平らに落ちたりした場合『お前はなぜ平らに落ちたのだ』と言つて是を叱つた所でなんにもならない。なぜならばダイバーは自分で平らに落ちて痛かつたと言ふことはコーチャーよりも充分知り、そして残念に思つてゐるからである。それよりも如何にして平らに落ちたか？ その原因を究めて教へてやるのが眞のコーチである。此の事たるや言ふは易くして行ふはけに難きかなである。アメリカに於てさへその様なコーチャーは十指を屈するに足りない程だ。せめてその一人でも日本飛込界の發達の上には是非欲しいものである。」と相當憶面もない自我自讃には少く顔まけのしたかたちで、その點矢張ラルフもアメリカ人だ、と腹の中をつぶやいたことであつた。

春季學生水球リーグ戦を觀て

笹島彦次郎

五月末に開始される此のリーグ戦に出場の各チームの、その冬期における練習の苦勞は、眞に大變なものゝ推察される。屋内プールを有する學校も一二はあるが、それとても、唯泳ぐ丈のもので、完全なる練習には利用出来ない状態である。戶外プールの活用出来るのは、先ず、東京では四月中旬以後である、して見れば、彼れ此れ一ヶ月か、一ヶ月半の練習で、試合に臨まねばならない各チームには相當な努力を練習に拂はねばならない筈である。

此の忙しい練習も春秋二回の、斯道普及發展の爲のリーグ戦故の犠牲であれば甘んじて、忍ばねばならない。



立教 (黒) 對 帝大 (白)
後半初め立教のシュート

幸ひ天候も申し分なく、氣温、水温も相當高く、早期の試合としては、比較的恵まれた条件にあつた。

兎角遅れ勝なものである開始時間等も参加各校の誠意と主催者側の努力により、正確に行はれ、記録に至つては、實に精密を極めて居る點等、繁雜な仕事に對し、當事者の自治的競技會主催振りは、大に敬意を表する次第である。唯第三者側の希望としては、延長戦の繰返される場合、忠實に規定通りでなく、何等かの競技會としての便法を設けて、競技の進行をより圓滑ならしめては如何と思はれた。

出場校は、早慶立帝明商日の七校で、相當賑かではあつたが、尙望めば、法拓の兩校の出場があればと思はれた。それにしても、此

迄時あつた、棄權が、影を潜めたことはよい傾向である。

全試合の結果としての順位は上記の通りで、先ず大體順當と思はれるが、運に恵れず、下位に甘んぜねばならなかつた氣の毒なチームも一二あつた。一位二位の順位は、兄たり難く弟たり難く、以下の順位程の差は認められなかつた(一早慶の一戦の詳細は時任君にお任せした。)

一昨秋以來選抜に選抜の上派遣された、オリンピック選手は流石に、豊富な土産を持ち歸つた。其の貴い土産を生かすべく努力した跡も明に現はれて居た。

昨秋は歸國早々であり重任の解かれたばかりとて、期待して居らず、その土産の効果は今秋からと信じて居たのに、早くも今春その一部分とは云へ實を結んだことは、慶賀の至りである。

一時的に進むべき方向に迷ひ、行詰つたかの様に見えた吾水球界の行手も濶然として開けたわけである。

十人十色と云ふが、出場七チーム各校異つた色彩を示して居た。技に、戦法に、試合精神において。

優勝の早稲田チームは顔振れも立派であり、粒も相當に揃つた方であつた。が何となく、阪上君一人のチームと見受けられた。H・B・として唯一人戦場を縦横に泳ぎ廻つて、相手方を引つ掻きまわして、得點の機會を作つて居た。バックは稍手薄で、流石の松本君も苦戦の態であつた。F・W・がゴール前に密集して、芋を洗ふ様に混雜するのを僻けたなら、より得點を増し得たであらうと思へた。

二位の慶應は、比較的粒揃ひであつた。初めH・B・として初陣した若林は若さの爲 F・B・に下つたのは仕方あるまい。チーム全體が餘りに柔かすぎて、鋭さに缺けて居るのが物足りなかつた。尙ゴールを狙つて居ながらシュートの極まらなかつたことが、徒に多かつた。

主將澤海君が早稲田の之も亦主將松本君と共に、皮膚の寒冷による蕁麻疹に苦しめられて居た事は偶然の暗合とは云へ實に皮肉な奇縁と云ふべきである。

第三位立教の躍進は實に敬服に値する。一昨秋以

來豫期に違はず、自治的によく纏つて、發展して來たことは賞すべきである。遠藤、關口、兩君の活躍が殊によく眼に残つて居る。この儘、この氣分を失はず精進すれば、早慶の兩牙城を脅かす唯一の有力なる候補者であらう。

昨春の覇者帝大の第四位轉落は意外であつた。冬期用のプールに恵まれたのが或は仇となつて、餘り伸びりし過ぎたのか、戦闘意識の存在をさへ疑はざるを得ない有様だつた。野知君土屋君等が徒に自ら奔命に疲れて居た。秋は緊輝一番の奮發を希望する。眼鏡を掛けたG・K・には度膽を抜かれた。當人よりは見て居る方が、氣が揉めた。

第五位明治は試合が餘り粗暴に過ぎた。必要以上に、激しかつた。榎本君あたりがよく働いて居た。

次の商大チームは眞に不運なチームであつた。最

初に宿敵立教を惜しくも討ち漏らしたのを始めとして、餘りに忠實に、消極的に試合を進めて居た爲に勝利に恵れなかつた。より積極的に戦つたならもつと上位に登るべきチームであらう。旺盛なる意氣を持つて居る。

下位の日大は明治と共にスピー

ードに於ては他の追従を許さないチームであるから、試合をスピードに訴へて、相手方を引き離して戦ふべきである、人對人の不快なプレイに墜ちぬ様心掛くべきである。

通觀するに次の諸點が特に目立つて認められた。

オリンピック土産の一つ、球扱ひに著しい進歩がある。「バスは手掌から手掌へ」が試合中は完全には出ては來て居らないが、實行せんとする努力は、明に認められる。F・W・のゴールへの叩き込み、も從來よりは一段と見事になり回数もぐつと増して來た。將來バスが總て此れになる階程と思はれる。又一方バスが大きくなつて來た。樂に、匹碼から四碼へと飛んで行く、樂にバスが出來れば、今一息の奮發で正確なバスにまで行きつける筈である。

故意犯則と認められるものが殊に多く目立つた。

元來水球は球を扱ふ競技である以上プレイは總て球を對象として行はなければならない、然るに往々に、タツクル後球を放置して、相手方を水底に蹴込む如き、必要以上の人對人のプレイが行はれて居た。相手方のフリースローの時、その腕を掴み妨害するに至つては、審判員に發見されざると否とに係らず最も排すべき、卑むべき仕業である。開始の時ゴールを蹴るものは往々スピードに勝れたプレイヤーであるのも不思議である。

審判員たることは、實に困難であり非常なる努力を要するものである。吾々も神の如き完全無缺な審判判定を要求する様な無理は云はぬが、少くとも努力と誠意のある審判員が望ましい。

學生聯盟の主旨として、將來の審判員養成の爲の

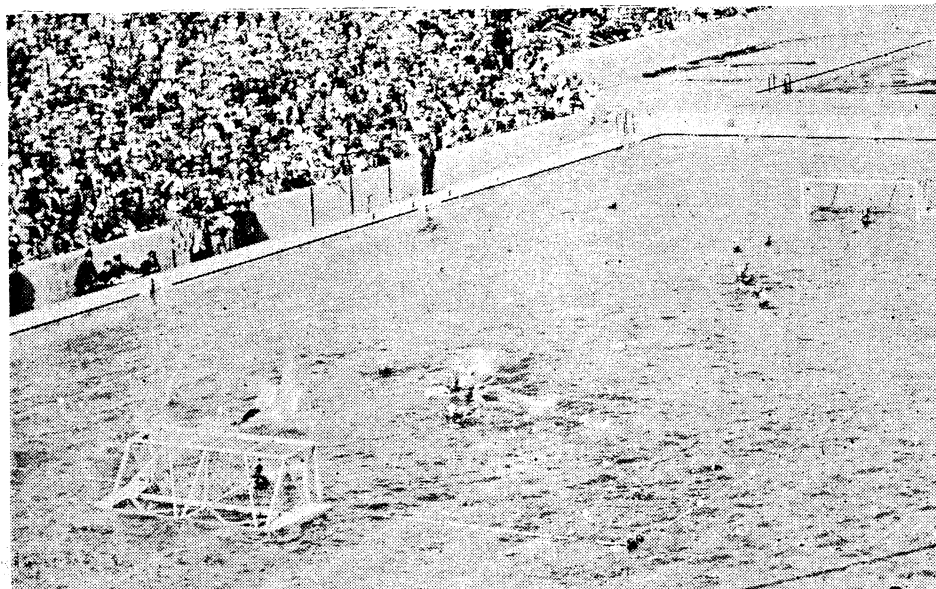
組織である以上、不馴れである點は少しも差悶えないが、二三の人を除いては、規則に對する研究、審判術に關する關心が或は不足なのではないかと思はれた。

試合中、球の動きにかまわず中央に固着し、或は何等責任なき觀衆の言により判定を變更す

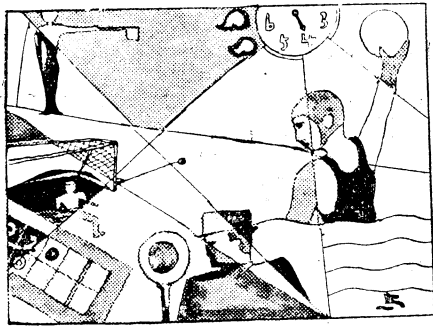
る如きは誠意を疑ふに足るものである。斯る審判員があつたことは遺憾である。退水後承諾なく側線より入水し、コーナー・スローを四碼より行ふに至つては、プレイヤーの規則に對する無智と共に之を許す審判員の不用意を明示して居る。

試合は出来る丈無笛聲で進行せしむるのが理想であり、徒に笛聲の多いのは望ましくないが、前記の如き明な犯則行爲を默認するは、例へ犯則者が有名選手であるとないに係らず、(一有名選手ならば一層一)神聖なるべき試合を汚すものである。

ゴールスカラーも試合最中自己の受持端に居らずに、中央に居る様な醜態も見られた。此リーグ戦は我水球界をリードすべき立場にあるから規則の研究技術、試合振りも天下の模範たるべき事を望む。



春季リーグ優勝戦(早大對慶大)
早大最初のゴールイン



策戦上より見たる

春季學生水球リーグ戦

時 任 嚴

春期リーグを策戦上より観察するならばやはり第一のゲームとして早慶戦を擧げる。新メンバーの多かつた兩チームは早慶戦の名と稀に見る大観衆のために多少固くなつて、その眞の力量は出し得なかつた事は事實である。然しながら兩軍の戦の進め方を具さに検討する時は少からざる興味をおぼへる。昨年度より見るならば共に攻撃力に力を増しながら、防禦力の底下を來してゐる兩軍のゲームは何れが勝つにしても、相當に點數が入るであろうとは具眼者の一致した意見であつた。事實澤海、木村の老巧なる攻撃に對する、弱冠延東、若山の防禦では名キーパー松本の後楯ありとは云へ二三の失點で事済むとは思われぬ。又オリンピック以來スピード、耐久力に、そして操球技術と巧にして鋭い動きに益々威力を加へた阪上を完全に押へ切れる人のない事も明白である。して見れば慶應にすれば勝利への第一條件は阪上の活躍を最少限度に止める事が絶対必要であり、早大の希望は如何にして澤海のシュートを無爲に終らせるかにあつたと云ふ事が出来よう。斯くして兩軍共にその目的を果して、磯部の異常なる奮闘は阪上の最大威力たるドリヴルとダツシュを封じ、若山又新人とも見えぬ巧妙なタツクルにて澤海のシュートを誤らし、息詰るような白熱戦を展開せしめたのである。早慶戦は確かにぎこちなかつたが然しこれは必しも兩軍が固くなつてゐたためのみではない。これは前述の如き點で兩軍が判然とした目的を持ち、飽くまでこれを遂行せんと努力した結果である。それ故この兩軍の目的を判然と知り、爲さんとする意志とその動作の成功率とを比べつゝ味はつた人には又異つた興味があつた筈なのである。

このゲームが他と異へる點は磯部がフォワードでありながら全然攻撃には加わらず一意バックマンである相手の阪上のマークのみに専念し、然もそのタツクルが胸或ひは腹にのみ行くものであつた事である。タツクルとは普通肩がボールを保持した手に行くべきもので、胸或ひは腹ではパスを防ぐ事は出来ない。然し普通行われる有効なタツクルは逆モーションをとられてドリヴルされる危険があり、阪

上の最も得意とし、又慶應の最も恐れたものはこの技術であつたのである。それ故磯部は阪上を内側に入れない事を第一とし球を保持しても胸又は腹をタツクルするに止め、阪上の自由なパスの防禦は犠牲にしたが、早大フォワードにはそのパスを活すべき力なく結果から云つて慶應の阪上の活躍を制限せんとする目的は達せられた形となつた。若しあの場合に早大にして阪上の豊富な送球を活用すべきフォワードの力量を有してゐたならば阪上と磯部があれと同じ状態であつたとしても阪上の豊富な送球が早大勝利の最大原因となつたであらう事は想像に難くない。然しながら慶應の主腦にしろ或ひは磯部にしろ早大の當時の状態を考慮してあの策戦を採つたとしたならば、稀に見る頭腦的プレーとして絶讃の價値ありと云ふ事が出来る。

一方澤海は徹頭徹尾若山の健闘に押へられたと云ふのが至當であらう。後半澤海の入れたりレー・シュートは目醒る様な見事なものであつたが然し木村、黒川より供給された豊富な送球よりの收穫としては唯一點は餘りに貧しきものである。今シーズン始めて出場した澤海は病後で練習不足だつたとは云へ決して悪い調子ではなかつた。否寧ろゴール前の鋭い動きは澤海ならではの感を深からしめる有効なものがあつたのである。それならば何故彼は失敗したのであろうか。勿論若山の出來が平常の實力より遙かに良いものであつた事も事實である。恐らく澤海は若山のあれ程執拗な防禦は豫想しなかつたにちがひない。戦前彼は若山の防禦に對して相當な給球に恵まれる限り少くとも五六點の收穫は自信をもつて期待したのであらう。そして無意識の内に若山のプレーに對する研究が不十分であつたであらう、磯部が大敵阪上に對して詳細な準備があつたため目的を果したに對して、澤海は若山に對する用意が欠けてゐたと思われる。澤海の十個に餘るシュートが或ひはゴール・キーパーの好餌となり或ひはゴールをオーバーして威力を現さなかつたのは若山が力こそ入つてゐなかつたとは云へ兎にも角にもシュート毎にタツクルしてゐた故である。それに對して澤海は最

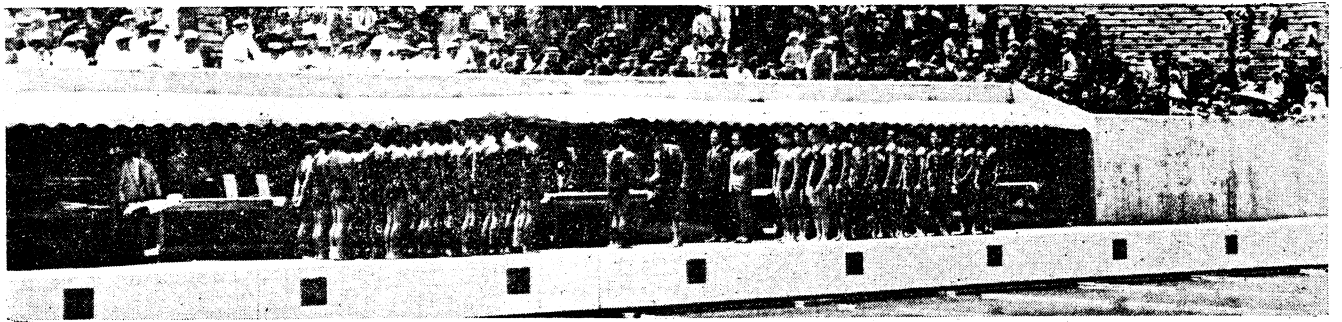
後まで攻法を改めず真正面より正直に攻立て遂に十分の効果を擧げる事が出来なかつた。若山は既に最大限に力を出し切つてゐたのであり、これに比して澤海には今少し技術を用ひて若山の逆モーションを取り或ひは他の前衛をダツシュせしめてこれにパスし今一度リターン・パスを受ける等の種々の方法があつたのであるから、それらを適當に混用したならば未経験の若山は應接に迷ひ慶應は少くとも今四五點の收穫を得たのではないかと想像する。然るに磯部は阪上に引まわされて攻撃に参加する事を得ず、木村も又パスした後のダツシュなく、澤海は又單調な攻法を若山にタツクルされて僅か一點の貧しい收穫に止つたと云ふべきである。高橋の得た早大の二點も又分析すればなかなか興味深い。元來高橋の強引はチーム・プレーの中には推稱し難いものであるが他の前衛が固くなつて役に立たなくなつたあの場合に勝利の直接原因となつたのも面白い。前半の第一點はゴール右前で球を得て、ゴールを狙つた際、一寸フアンブルしたのが偶然フェントの効果を表わし得點となつたもの、後半決勝の一點はゴール左に強引のドリヴルで割り込み平常ならば彼の悪癖なるゴールを見つゝする弱いバック・シュートでキーパーの好餌となる所、そしてマークしてゐたバック・マン確か若林だつたと思ふ)がそれを豫期して肘にタツクルしようとした時に突然のターニング・シュートで奇功を奏したものである。第一點は左程のものとも思われなかつたが決勝の一點は目の醒めるような立派なものであつた。これらも最初より意識して爲したプレーであるならば稱讃さるべき資格あるフライン・プレーと云ふ事が出来る。

共にオリンピック選手を有する早慶兩チームはロスアンゼルスより持ち歸へつた新知識を未完成ながら盛んに取り入れてゐるのは此の上なく喜ばしい。慶應は木村、磯部に主に給球せしめ澤海をゴール前にフロートせしめる攻撃布陣はハンガリーのそれに類するものであるが澤海があゝの位置にしては泳ぎ過ぎ且つ強引にシュートし過ぎ、木村、磯部又パスした後のダツシュ少なく従つて十分の効果が擧らない様に見受けられた。澤海的位置は強引を主とせず球を得るや主にダツシュして来る味方にパスし、その後有効に少しく動いて、そのリターン・パスを受けてこそ始めて最も良きシュート・チャンスに恵まれるのである。ゴール前の人か持ち過ぎ又他の前衛のダツシュのない事はこのシステム成功への致命的欠陥である。手近かにその例を取るならば今度の早慶戦こそ正にこれに當はまるのであろう。ゴール前の敵

に球の渡つた瞬間は防禦側はシュートを止めんと最も緊張した時であるからこの時に強引なシュートしては餘程の實力の差がなくてはシュートは成功するものでない。野球でも打者が猛烈に打氣の時は一壘に牽制球を投じてその打者の氣合を抜く。角力で仕切りの簡單に行かないのもこの理である、水球に於ても相手のこの氣合を抜く事は最大の技術でなければならぬ。澤海は種々の技術を用ひて若山の氣合を抜かず、その氣合の最高潮にある時にシュートした故に経験少なき若山にもそのシュートの總てをタツクルされたのである。澤海はこれに必要な十分の技術を持つてゐるのであるから、ゲーム中に冷靜に考へて策を施こしたなら、あのような苦戦はしないですんだであらう。以上の如き事を考慮して現在のシステムを成長せしむる時には慶應水球チームが日本水球界に與へる影響は決して少くないと思われる。早大は慶應とは反對に前衛の完成は今後に残して定石的動きを學ばしめるに止めハンガリー最大の武器たるバックのドリヴル、ダツシュに攻撃の主力をおいた。然るに阪上以外の二人は自己の防禦に汲々としてダツシュの餘裕なく結局阪上一人の活躍に相當なる効果を収めたが早慶戦に阪上のダツシュが封ぜらるゝや攻撃に澁滞を來しバック總べてに同等の力量なくしてはこのシステムも又無力なるを證明した、然しながら斯く成さんとする將來への意識は判然と把握してゐるのであるから順調に成長せしめた暁は確かに期待する價值がある。何事の完成にも順序を追ふ事は必要なのであるから、このチームの完成は先づ來年に期待すべきであらうと思ふ。

早慶以外に見るべきシステムを有してゐるのは立教である。立大チームはオリンピック前まで早大の用ひてゐたシステムを採用してゐる。即ち三者皆動き球を得るや中央のものはサイドへ出てゴール前をあけ、サイドのものはそこへダツシュして球を受けシュートに無理ならば又サイドにドリヴルで逃げ次にゴール前にダツシュするものにパスすると云ふ、定石的の動きである、これだけの簡単な動きでもメンバー相互間に一致した意志があり、その目的に向つて忠實に動く所にチャンスが生じ、あれだけの成績を擧げ得たのである。商大も同じ方法で行かんとする意志は確かに見受けられたが、力不足してその意志を具體的に現す事が出来ない所が立大チームに劣る點であらう。帝大は歴史あるチームであり操球術、或ひは水中の運動能力に於ては相當な位置にありながら、何らのシステムをも持たず、メンバー各

10頁へ



本シーズン劈頭の躍進

世界記録を生んだ早慶・早關對抗競技

第十回オリンピックの第二年、而もシーズン始まつたばかりの六月十一日に行はれた第七回早慶對抗競技會に於て小池が二百米平泳に於て二分四十四秒二の世界記録を出せば、二週間後の早關對抗競技會に於て牧野は十分八秒六の大記録を出してタリスの所持する十分十五秒六を七秒も縮めて、一九三二年にタリスに奪はれた世界記録のタイトルを再び奪

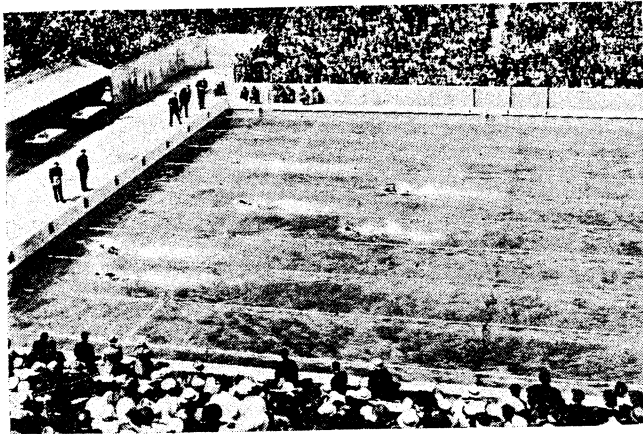
換した。

兩競技會共に早大チームの壓倒的の強味により、對抗的の興味はさうまで深くはなかつたが、好調のオリンピック出場選手の活躍と、フレッシュマンの入學最初の意氣込は吾人の希待にむくゆるに十分であつた。

第七回早慶對抗水上競技大會

昭和八年六月十一日 神宮プール(50米) 氣温26.5 水温23°

		得 點					
100自	[1] 阪上安太郎(早)	1:00.0	早 慶	6	山本 (慶)	6/16	0/2
	[2] 河石 達吾(慶)	1:00.6		300 米ノ正式計時		3:38.6	牧 野
	[3] 高橋 成夫(早)	1:00.8		1500自	[1] 牧野 正藏(早)	19:54.0(大會新)	
	4 志村 美久(早)				[2] 田中 一男(早)	20:51.6	
	5 松岡 繁夫(慶)				[3] 永見 達明(早)	21:13.8	
	6 山川金之助(慶)		4 2		4 根來 幸成(慶)		
200自	[1] 横山 隆志(早)	2:16.0(大會新)			5 小森 正巳(慶)		
	[2] 新聞 六柄(早)	2:17.6(大會新)			6 前川 重樹(慶)	6/22	0/2
	[3] 片岡寅次郎(早)	2:18.0(大會新)		100 米ノ正式計時		13:10 8	
	4 河石 達吾(慶)			200平	[1] 小池 禮三(慶)	2:44.2	世界新
	5 森 博(慶)				[2] 古莊 次平(早)	2:56.4	
	6 松岡 繁夫(慶)		6/10 0/2		[3] 山田 弘(早)	2:56.6	
400自	[1] 牧野 正藏(早)	4:53.0(大會新)			4 前田 倍三(早)		
	[2] 横山 隆志(早)	5:03.4			5 渡井長七郎(慶)		
	[3] 田中 一男(早)	5:15.4			6 龜山 六郎(慶)	3/25	3/5
	4 小林 正巳(慶)			100背	[1] 入江 稔夫(早)	1:12.4	
	5 前川 重雄(慶)				[2] 清政 武夫(早)	1:16.6	
					[3] 勝久 重隆(早)	1:16.6	



早慶戦 100米自由形ゴール前
左ヨリ河石、坂上、松岡、志村、山川、高橋

4	井上賛二郎(慶)	
5	渡邊 卓一(慶)	
6	秋竹 博司(慶)	6/31 0/5
1	早稲田大學	9:18.8(大會新)

800
リレー

	(片岡、新聞、牧野、横山)
2	慶應大學 10:02.4
	(森、山川、河石、松岡) 3/34 0/5
總得點	早稲田大學 34點
	慶應大學 5點

水 球

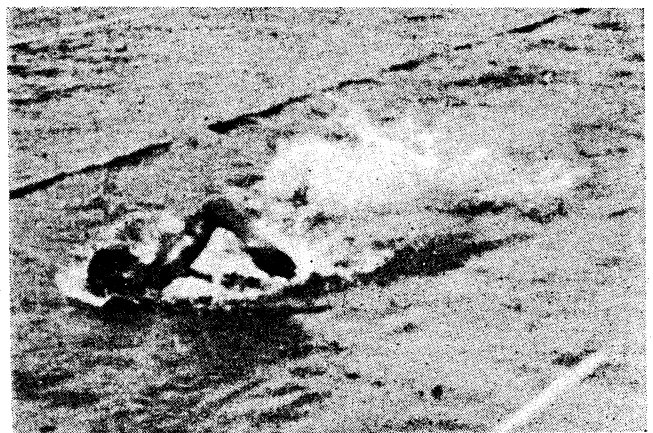
早大チーム		慶應チーム	
志村 義久	F. W.	澤 海 東 助	磯 部 義 介
高橋 成夫		木 村 清 兵 衛	
勝 久 重 隆		黑 川 武 夫	
坂上 安太郎	H. B.	若 林 安 藝	
若 山 瀧 美	F. B.	勝 修 三	
延 東 善 太 郎		小 柴 義 清	
松 本 隆 重	G. K.		
1	前半	0	
1	後半	1	
2	合計	1	

第十回早關對抗水上競技大會

昭和八年六月二十五日 神宮プール(50米) 氣温 29° 水温 22°

種別	順位	選手名(所属)	タイム	備考
50自	1.	高橋 成夫(早)	0:26.6	得点早關
	2.	竹村 公良(早)	0:27.2	
	3.	森岡 政之(關)	0:27.6	
	4.	岸本 芳郎(關)		
	5.	熊野 佐一(早)		
	6.	渡邊 信夫(關)	13 8	
100自	1.	高橋 成夫(早)	0:59.6	(大會新)
	2.	阪上安太郎(早)	1:00.6	
	3.	志村 義久(早)	1:03.4	
	4.	入江 正男(關)		
	5.	森岡 政之(關)		
	6.	岸本 芳郎(關)	15/28 6/14	
200自	1.	横山 隆志(早)	2:15.6	(大會新)
	2.	新聞 六炳(早)	2:16.0	(大會新)
	3.	片岡寅次郎(早)	2:17.6	(大會新)
	4.	入江 正男(關)		
	5.	島田 壽明(關)		
	6.	兒島 高一(關)	15/43 6/20	
400自	1.	牧野 正藏(早)	4:52.4	(大會新)
	2.	横山 隆志(早)	4:53.2	(大會新)
	3.	新聞 六炳(早)	4:59:8	(大會新)
	4.	西田正四郎(關)		
	5.	佐藤 征(關)		
	6.	島田 壽明(關)	15/58 6/26	

800自	1.	牧野 正藏(早)	10:08.5	(世界新)
	2.	永見 達明(早)	10:45.6	(大會新)
	3.	田中 一男(早)	10:47.0	(大會新)
	4.	西田正四郎(關)		
	5.	佐藤 征(關)		
	6.	松田 高明(關)	15/73 6/32	
200平	1.	大崎卯藤久(關)	2:52.0	(大會新)
	2.	前田 倍三(早)	2:57.2	
	3.	田崎 邦彦(關)	2:57.2	
	4.	三國 太郎(關)		
	5.	古莊 次平(早)		
	6.	山田 弘(早)	8/81 13/45	



800米に世界記録を作つた牧野選手

			得 點			得 點
100背	1. 入江 稔夫(早)	1:14.0	早	關		早 關
	2. 柿内久壽馬(關)	1:15.4				
	3. 清政 武夫(早)	1:15.6				
	4. 角野 二郎(關)					
	5. 勝久 重隆(早)					
	6. 河野 俊夫(關)		12/93	9/54		
200	1. 早 稻 田 大 學	1:47.8	(大會新)			
リレー	(阪上、竹村、志村、高橋)					
	2. 關 西 學 院	1:53.2				
	(森岡、入江、渡邊、岸本)	10/I03	5/59			
800	1. 早 稻 田 大 學	9:22.4				
リレー	(片岡、新聞、牧野、横山)					
	2. 關 西 學 院	10:08.8				
	(入江、佐藤、角野、西田)	10/113	5/64			
300メドレー						
	1. 早 稻 田 大 學	3:36.8				
	(入江、山田、阪上)					
	2. 關 西 學 院	8:39.0				

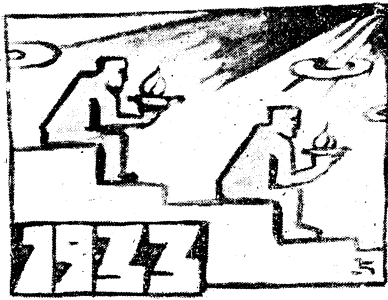
	(柿内、大崎、森岡)	10/123	5/69			
總得點	早 稻 田 大 學	123點				
	關 西 學 院	69點				
水 球						
	關西學院			早稻田大學		
	川喜田益夫	}	F. W.	志村義久		
	渡邊信夫			高橋成夫		
	柿内久壽馬	}	H. B.	勝久重隆		
	岸本芳郎			阪上安太郎		
	佐藤征	}	F. B.	延東善太郎		
	河野俊夫			若山瀧美		
	福士惠四郎		G. K.	松本隆重		
	0		前 半	5		
	0		後 半	6		
	0		合 計	11		

二百米平泳世界記録

小池の二分四十四秒二は世界記録として公認されず。

去る六月十一日第七回早慶對抗水上競技大會に於て小池選手は、二百米平泳に於て二分四十四秒二の記録を作つて從來の世界記録、レオナード・スペンスが一九三一年米國シカゴの二十五碼プールで作つた二分四十四秒六を破つたが、國際水泳聯盟の理事會が六月一日に開催されたので、多少危ないとは思つたが取敢へず電報を以てこの旨通知し、直ちに書類を發送して公認を申請したが、理事會に於てはレオナード・スペンスの二分四十四秒〇及佛蘭西のカルトンネの二分四十二秒六を世界記録として公認した。依つて小池の記録は遺憾ながら公認が出来ないとの書信が此の程國際水泳聯盟から日本水上競技聯盟に到達した。

尙レオナード・スペンスの二分四十四秒〇は二十五碼プールで作られ、カルトンネの二分四十二秒六は二十五米プールで作られた記録である。



水 泳 醫 事 瑣 談

NSR醫事部委員主任 太 田 正 隆

(1) 競泳選手の養成

泳手を選手として養成する年齢は女學校、中學校一、二年即十四、五歳の頃からがよい。

選手として絶対必要條件は胸部内臓の健全なる事である。十四、五歳の頃からはけしき競泳をさせるわけではないが、其の頃から既に一般泳手と區別して、教導する方がよいと思ふ。只水泳指導者が十二、三歳の人が將來十七、八歳迄に頭腦、諸内臓、骨格、筋肉等が一流選手として、恥かしくない迄に發育するか否かを見分ける事は難事であつて、之は校醫に尋ねても即答出来ぬ事である。此の場合私は其の人の兩親、兄弟、姉妹の體格及健不健を参考にするのが最もよいと考へる。

男子青年が十七、八歳に成ると生理的に身體の諸器官が非常に變化を來すもので、丁度女子の月經の初潮を見る時と同様である。殊に腦の作用即精神の狀態及び内分泌腺の作用に特殊の變化が來るので、此の時期には種々の病氣が起り易い。男子選手では脚氣、肋膜炎、肺尖カタル等が起り易いやうである。又男女とも神經衰弱又は神經過敏狀態を起し易い。神經系の發育狀態の變化と共に内分泌腺の發育が急變して、男女とも性的第二性格が著明に現はれて來る。此の時期の選手は脚氣其の他神經系の病氣が起らなくともあらゆる器官殊に神經系が一種言ふべからざるラビールの狀態にある爲めか、體力の強弱、新陳代謝の良不良、疲勞恢復の遲速等が常ならざる爲め、速度に不定を來して、或る時は非常に良きタイムを出すかと思へば、又極めて悪いタイムを出す事がある。此の時代には指導者は充分注意を拂つて選手を導くと共に、其の身體の狀態を常に醫師と協力顧慮すべきである。然らざれば優秀なる選手と成り得る人も平凡に終る事があるらしい。

(2) 競泳選手の榮養

人間の榮養に肝要な滋養素は蛋白質、脂肪及含水炭素(糖分)の主要養素とビタミン A B C D 等の

副養素とであつて、之等の滋養素を人間に供給するものは言ふまでもなく常食品である。之には動物性食品、穀類、野菜類、豆類、果物類等があるが、物によつて夫々前記滋養素の含有量が種々違つて居る。而して健全なる人は之等食品の種々の物を充分に偏らずに食べればよいのであるから、健康な選手諸君は平常は蛋白質、糖分、脂肪、ビタミン A、B C D 等を偏らずに充分食べればよい。但し各滋養素一瓦に付き、

蛋白質	四・一カロリー
糖 分	四・一カロリー
脂 肪	九・三カロリー

であるから脂肪が一番榮養價があるわけである。

次に含水炭素(糖分)は筋肉運動に缺くべからざるものであつて、之は主に穀類に含まれて居るから、選手が海外に遠征した時には特に注意して穀類を食べねばならぬ。但し右の如き目的で含水炭素即糖分を多く食べた時には必ず忘れずにビタミン B を含んで居るものを澤山食べねばならない。又平常半搦米又は胚芽米を常食とする選手或は米麥混合の飯を常食とする地方選手が東京又は其の他に合宿して美味しい精白米を食べる時、しかも副食物がうまいと餘計飯を食べて含水炭素が非常に多く攝取されるから、此の時も前同様にビタミン B を澤山副食物として食べる必要がある。一體劇しく筋肉を働かすと體内に乳酸其の他の有害物質が澤山出來て、之が蓄積すると疲勞が増大する。此の乳酸の酸化解毒に體内のビタミン B が關係するらしい。従つて體内のビタミン B が平常より不足がちと成るらしい。所がビタミン B が不足の時に、含水炭素を澤山食べると脚氣が起り易く成るのである。其故指導者及監督者は競泳時は勿論の事平常と雖も充分此等の點に注意すべきである。

(3) 男子競泳選手の合宿

合宿で肝要な事は言ふ迄もなく、人の和と各自の健康である。人々の和合は監督及主將の人格と各自

の修養とに待つべき事で、今述ぶべきではない。

次に健康保持に必要な條件は選手の睡眠と栄養とである。睡眠と栄養とを十分にするには第一に規則正しい生活とそして間食を謹まねばならぬ。

睡眠は疲労回復に最も肝要である事は今更言ふ迄もない。其故選手の中で神経系が外界の刺激に對して興奮性に生れついて居て睡眠不足に成り勝ちの人は夕食後の飲食を絶対にやめ、又他選手の諒解を得て出来るだけ刺激の少い所で睡眠せしむるやうにせねばならぬ。殊に對抗競技の合宿では一層必要である。

一般に運動選手は競技前の烈しき練習中は体内の蛋白質の分解が非常に旺盛である爲め、肺臓よりの有毒瓦斯の發生が多いから寢室の空氣は充分よくし部屋の廣さと人數との割合は先づ八畳に二三人がよい。

睡眠時間は各人の睡眠の深淺によつて種々であつて睡眠の深い人は短い時間ですみ、浅い人は長い時間を要するのであるから、理想から言へば、睡眠の浅い人は浅い人同志、深い人は深い人同志を同室にねかすがよい。

若し對抗競技の合宿で興奮して眠られぬ人が出来たら、夕飯後の飲食物攝取を厳禁し、マッサージ施行後入浴し前記の如く刺激少き部屋に消燈して寝がし、時には葡萄酒、ベルモット等を就床前に用ふるもよい。睡眠劑は成可く用ひぬ方がよい。

大體睡眠の時間、寢室等の關係は平常の合宿と競技前の合宿とコンディションが變らぬやうにせねばならぬ。

次に栄養問題であるが、平常合宿に於ける食餌と競技前合宿に於ける食餌との關係を精密に研究すれば、中々簡單には言はれぬが脚氣、肋膜炎等の既往症のない健全なる選手のみならば、平常と競技前と量的には差があつても質的には餘り差のない方がよい。即前項に述べたやうに、蛋白質、脂肪及糖分の主要養素と、ビタミン A B C 等の副養素とを偏らずに充分食べればよいのである。然るに平常は胚芽米又は米麥混合飯を常食として居るのに競技前の合宿では、精白米を常食とするとビタミン B の攝取量が相違して來るし、尙精白米の方が美味しいから餘計食べると含水炭素の攝取量も亦平常と相違して來る。即ち含水炭素を餘計攝取してビタミン B の食べ方が少く成るのである。之は前項で既に述べた様に脚氣の起り易い一條件であるから、斯かる時は副食物としてビタミン B を多く含有する物を澤山攝取せねばならぬのである。其故平常半搗米又は

胚芽米、米麥混合飯を食べて居る選手は競技前も亦矢張り之を食し、平常新鮮なる野菜や果物を充分に好んで食べる人は競技前も同様に之を澤山攝取して平常及競技時の食餌が質的に大差なきやうにせねばならぬ。

然るに脚氣の既往症ある選手では、競技前には平常より遙かに烈しく、筋肉を使ふから、他選手より特に多くビタミン B を食べねばならぬ。又、肋膜炎の既往症を持つ選手は他選手より餘計ビタミン A を攝取する方がよい。斯かる事を顧慮すれば、合宿に於ける選手監督は食餌の獻立にも充分の注意を拂はねばならぬのである。

次に合宿中注意すべき疾病は感冒殊に耳鼻咽喉加答兒及び胃腸加答兒である。耳の加答兒に對する豫防としては耳中に這入つた水をよく取り去る事で、少しでも疼痛があつたり、又は耳がふさがつたやうな感じがして聴力が悪くなつたら直ぐ醫者に診を乞ふべきである。咽喉又は鼻加答兒の豫防としては毎食後及水泳後並びに就床前に一パーセントの食鹽水又は硼酸水で含嗽するがよい。是は又口腔内の衛生と成つて齒痛の豫防となるから是非實行すべきである。次に胃腸の炎症を豫防するには言ふ迄もなく食事を規則正しくして間食を成可くせぬ方がよい。又毎日の便通に充分注意する事が肝要である。少しでも便秘又は下痢を來したら醫者に診を乞ふべきである。殊に便秘の方は放つて置き易いからよく注意せねばならぬ。

終りに合宿中の選手諸君に特に注意して置く事は栄養々々と言つて食べ過ぎては何もならぬから「過ぎたるはなほ及ばざるが如し」と言ふ古い言葉を常に念頭に置いて頂きたい。

(4) 疲労回復と醫學

如何なる運動もすべて筋肉の收縮と伸展とによるもので、此の筋肉の收縮は筋肉内に含まれて居るグリコゲンから乳酸が出来るためである。此の乳酸は体内で酸素の力をかりて所謂酸化作用によつて一部は水と炭酸瓦斯とに分解し、一部はもとのグリコゲンにもどるのである。若し此の際酸素が不足すれば筋肉内の乳酸の量が増加し、之が一定量以上となれば筋肉は收縮能力を失つてつかれきつてしまふ。即ち酸素の供給が不充分なる場合には、筋肉は疲労困憊するのである。其故水泳中も成可く充分空氣を吸つて体内に酸素を供給しなければならぬので、之が充分行はれねば筋肉内に乳酸が出来るばかりで、乳酸→グリコゲンと言ふ回復作用も行はれないから

グリコゲンが減少する一方で、乳酸は蓄積するばかりであるから筋肉は疲労の状態に陥るのである。之から考へても水泳中の呼吸法が如何に重大であるかがわかる。扱て運動の程度と乳酸發成量との關係を言へば運動が激しければ激しい程體內に出来る乳酸の量は多くなるのである。そして乳酸の量が多くなれば運動中に空氣中からとり入れる酸素だけでは、全部の乳酸を處分し盡せないで、従つて運動が續くかぎり刻々に乳酸は體內に溜つて来る。然しながら筋肉は或程度迄乳酸の蓄積に堪へて働き得るもので、たとへ乳酸がたまつても筋肉は少し宛疲労しつゝも働くから選手は最後まで競泳し得るのである。そして運動が停止した後徐々に蓄積乳酸を酸化して除去するのである。其故運動停止後も暫くは酸素の消費が多い。又運動が激しい程、又其の持續時間が長い程、運動を止めた瞬間の乳酸蓄積量は多いのである。右の如くであるから競泳後直ちに酸素吸入をする事は非常に有意義の事で疲労恢復を促進する事は明かである。但し酸素吸入は酸素入ポンプより必ずマスクを直接に口にあて、充分吸入するのが有効であつてマスクを口からはなして空氣をまじへぬやうに注意せねばならぬ。

酸素吸入の次に疲労恢復にとつて有効なるものはマッサージである。マッサージの理學的作用は人體末梢動脈の血行をよくして筋肉内に蓄積した有害物質を血液をして成可く速かに持ち去らしめるのであつて、之をくはしく言へば酸素の少い炭酸瓦斯の多い末梢の血液を成可く早く肺に送つて此處で新たに酸素をとり入れさせるのであるから、マッサージは前記の蓄積乳酸を除去する爲めの體內酸化作用を促進させるに缺くべからざるものである。其故競泳直後マッサージを施行しながら酸素吸入すれば理想的である。又競泳直後の入浴も血行をよくして体内の酸化作用を助け疲労恢復を促進するにあづかつて力あるものである。

次に葡萄糖の服用であるが、運動の際の筋肉收縮の原動力と成るグリコゲンは人間が攝取する含水炭素即糖分から出来るのであるから、激しき運動によつて減少したグリコゲン補給の目的で葡萄糖製劑を服用する事はよい事であつて、之は心臓の疲労恢復にも亦有効である。

次にビタミン B は体内の酸化作用を促進するに預かつて力あるものらしいので従つて疲労恢復を速かならせるから之も服用してよろしい。殊に脚氣の氣味のある人などは尙更よい。

要するに競泳後の疲労恢復に醫學を應用する事は

重要であるが、前記の諸事を施行した後一定時間肉體及精神の安靜をとる事が最も肝要であるから指導者及選手諸君は之を忘れてはならぬ。

(5) 競泳と筋肉及精神作用

選手は一方に智的精神作用を以て注意力を集注し動作を機敏にし他方に意的精神作用を以て決斷をよくし而してあくまで忍耐努力せねばならぬ。あらゆる注意力を働かして相手と自分のコースの關係、相手の力量等を充分知りぬいて、さてスタートの時には強き注意力の集注とするとき機敏さとを以て飛び出すのである。さて一度泳ぎ始めれば精神はスタートの時程緊張を要しないが、然し相手の位置と自分の位置、コースの距離と自分のペース、眞直に行くか曲るかの自己の體位、伸びの具合、疲労の程度等を考へて然る後どの位るからピッチをあげたらよいかを見計つて斷固として之を決行するのである。其の他は自分の意志によつて苦しみを押し切つて努力するのである。會てブレスト第一世鶴田氏は曰く、ラストコースで強敵とせり合ふ時は、自分は決して相手を負かさうと考へない。相手を負かさう、己は勝たねばならぬと云ふ考は自分の精神に亂れが來て却つて自分のペースを亂すものだ。其故レコードと戦ふのだと思つて一掻一掻に力強く精神を打ち込んで努力するだけだ。此の言葉は味ふべきもので、五十メートルのやうな短距離の時には水泳中に其んな考の出る筈もないが中距離以上になると精神の統一が亂さるゝ事があるから、之を戒しめた言葉だと思ふ。鶴田氏は又曰く、ラストコースでピッチを上げる時、心身の疲労があるから、上げて居る筈のピッチが實際にはあがつて居らぬもので、幾度となくピッチをあげ直す事がある。と此の言葉も亦誠に面白い事で、ラストコースで自分の精神と肉體の疲労を充分知つて居る大選手は自分の精神作用をひきしめて、繰り返し繰り返し運動神経に命令を下すと云ふ事實を物語つて居ると思ふ。斯る事は十代の若い強い盛りの選手には左程肝要では無いかも知れぬが、鶴田氏の如く二十代で自分のレコードを永く保持する人にして始めて言ひ得る事と思ふ。

凡そ筋肉運動で最も能率的の働作は緊張につぐに弛緩或は寛和を以てする事である。極くわかり易い例だけを擧げて見れば、クロールで上肢が水をキャッチして然る後掻き抜くまでは筋肉は最も緊張して居るのであるが、掻き抜いた後空中で前方に持つて行く時は水中にある時にくらべて弛緩リラクゼーションの状態である。是れは言ひ換へれば右上肢が緊

張の状態で運動して居る時に左上肢は寛和の状態
運動して居るのである。斯くて左右上肢が交互に緊
張と寛和とを行つて疲労を防いで居るのである。筋
肉は緊張ばかりして居れば、常に収縮して居るので
あるから、筋肉内に乳酸が蓄積して疲労を速める事
は前項で詳しく述べた通りである。

又クロールの時の下肢の動作であるが、昔やつた
やうに膝關節に力を入れて下肢全體を伸ばしてバタ
足を行へば大腿部の筋肉は常に緊張して居つて速く
疲労してしまうが、今日行はれて居るやうに膝關節
で力をぬいて居れば大腿部の筋肉殊に四頭股筋は緊
張とリラクゼーションとが交互に来るやうになるか
ら極めて能率的である。又プレストストロークでも
兩上肢に非常な力のはいつて居る時に兩下肢の力を
充分ぬいて居る時がある。即ち茲にも上肢と下肢と
の間ニテンション(緊張)とリラクゼーション(寛和)
とが交互に行はれて居るのである。其の他上肢或は
下肢の中でも前腕又は脚の一つ一つに就いて云へば
其等各部の伸筋が緊張して居る時には其れに拮抗す
る屈筋が充分弛緩せねばならぬ時がある。反對に屈
筋が緊張して伸筋が弛緩すべき時もある。斯る時弛
緩すべき筋肉は充分に弛緩して休息し、緊張すべき
筋肉は思ふ存分緊張して働かねばならぬので、若し
弛緩すべき筋肉が少しでも緊張すれば其の筋肉は休
まらぬのみならず拮抗筋の緊張を妨げる事となつて
速力に障害を來すのである。此の筋肉動作の能率の
良い例は小池氏のプレストストロークを熟視すれば
わかると思ふ。是は上肢及下肢運動の動作に付いて
言つたのであるが、身體全部に此のリラクゼーショ
ンがなければ所謂水身一致の實はあけられないので
ある。

以上は筋肉の緊張と弛緩であるが、精神作用に於
ても亦全く同様であつて、腦の作用もいたづらに緊
張のみ續けば腦細胞内に疲労物質が蓄積して精神の
疲労が速かに來るものである。其故緊張につぐに弛
緩を以てせねばならぬ。

凡そ身體の或る部の筋肉が或る目的の運動を營む
ために緊張すると其の附近の拮抗筋は其の運動に適
ふやうに或は共に緊張し又は緊張が抑制され又或は
弛緩して各種の筋肉の緊張と弛緩度が調節加減按配
されて目的運動が遂行されるのである。此の調節加
減が宜しきを得て始めてタイミング良き運動が出來
るのであるが此の作用は實に大脳及間腦の力に由る
のである。其故調子良き泳ぎ、速力ある泳ぎには如
何に腦の作用の肝要なるかがわかるのである。睡眠
不足の時によきタイムの出ないのは、たゞに筋肉の

疲労恢復が悪いばかりではなく、頭腦がぼんやりし
て居る爲めに筋肉の緊張と寛和との調節按配が宜敷
きを得ないからである。

腦病の一つで緊張病と云ふのががあるが、是は全身
の筋肉が緊張して居るので斯かる名稱を附けたので
ある。此の病氣の人は常に堅くなつて居て動作が非
常に緩慢である。之は精神作用と筋肉の緊張度とに
関係のある事を示すもので、此の場合は病的に筋の
緊張度が亢進したのであるが生理的にも精神の緊張
が筋肉の緊張度を亢むる事がある。大仕合の時精神
が餘り緊張しすぎると筋肉も亦緊張しすぎて所謂身
も心もかたくなつてしまふものである。其處で諸筋
肉間の緊張及寛和度の調節が亂れて所謂リラクゼー
ションなき緊張を來して手、脚が重くなつてピッチ
があがらぬどころか自分のペースも亂れるやうにな
るのである。

要するに競泳中の精神作用も亦筋肉と同様に寛和
(ゆとり)のある緊張でなければならぬ。左もなけれ
ば自分のペース、疲労の程度、ピッチのあけ時等も
確實に知り得ない。競泳中精神の緊張にゆとりあつ
てこそ茲に始めて精神の統一が出來て、水心一致の
實を擧げ得るのである。

(6) 競泳選手の健康保持 に注意すべき諸件

(一) 冬期身體の鍛練に餘りはけしき運動競技を
して筋肉、關節又は骨等に障害を來すが如き事があ
つてはならぬ。例へばラグビーをやつて關節をいた
めるとか、スキーをやつて足關節の捻挫を來すが如
き事をせぬ様に注意すべきである。斯かるスポーツ
をするよりもむしろ體操を毎日怠たらずする方が肉
體的にも精神的にもよい影響がある。

(二) 一年に一、二度は耳鼻科及眼科醫を訪うて
耳及眼の健康状態を検査してもらう事が必要であ
る。放つて置いて大事になる事があるから注意すべ
きである。

(三) 時々胸部内臓のレントゲン検査を受けて肺
及心臟の状態をしらべてもらつて、氣管枝カタル、
肺尖カタル、肋膜炎、脚氣、心臟病等の豫防をせね
ばならぬ。

(四) 又時々下肢の腱反應を醫師に検査してもら
つて神經疾患及脚氣の豫防を怠たらぬやう注意する

(五) 次ぎには時々尿の検査殊に尿中の蛋白及び
糖分の有無の検査を受けて腎臟病及糖尿病の豫防す

(六) 最後に糞便の検査を受けて寄生蟲病の豫防
を行ふべきである。



日本競泳發達史

山 魁 村 市

第二章 競泳躍進時代 (自大正十二年
至 同十五年)

第一 競泳新進期

(2) 巴里オリンピック大會遠征 (大正十三年度)

本年は巴里に於て第八回オリンピック大會が舉行されるのである。前回白耳義安府の大會には、我國から見學の趣旨で内田正練及び齋藤兼吉を参加せしめたのであるが、大正九年末兩君が歸朝するや俄然クロールの研究盛んとなり、新舊泳法過渡期を現出したが、大正十二年度に入りては新泳法萬能の時代になつたのである。しかも記録の躍進は顯著にして世界の檜舞臺に腕試しを爲さんと意氣凌しく、ハワイの兩カワナモクやWケヤロハ等と一戦せばやの計畫もあつたが、九月の大震災の影響で實現せず終つた。

かくして巴里遠征も沙汰やみになる運命におかれたが、幸ひ斯界の先輩の努力により、われも堂々参加に決したのは愉快であつた。選手は前年度の成績を参照して詮衡し、六名を決定した。

主將 小野田一雄、高石勝男、宮畑虎彦、野田一雄、(以上自由形)

背泳 齋藤巍洋 平泳 石田恒信

慾を云へば自由形に入谷唯一郎、磯部勝治、背泳に上田治を送り得なかつたのが残念であつた。四月十五日から廿六日まで杉本傳氏監督の下に茨木中學プールで練習を爲し、廿七日神戸出帆の香取丸に乗

し、一路歐洲に旅立つたのである。かくて四十一日間の永い航海を終り無事マルセイユに到着した。折しも御外遊中の朝香宮殿下にはスポーティング俱樂部プールの練習に來場遊ばされ親しく御激勵の辭を賜はり士氣大いに振ふ。かくして小猫の様に敏捷な日本選手(佛紙)は茲に大象の如き世界強豪と相見ゆることになつたのである。自由形の高石、野田、平泳の石田の練習タイムは何れも日本記録を破る優秀なものである。

1500米自由 22:26 高石
22:40 野田
200米平泳 3:8 石田

◇オリンピック水上争覇 (7.13—20)

参加國廿五に達し米國の如きは男子卅六名、女子廿四名の多數で繰り込み、巴里郊外ツールプールは百花咲き匂ふ壯觀を呈した。

千五百米自由形競泳

第一豫選は七月十三日午前拾時卅分開始、水温21度、二着まで及びベストサード一名入選、日本は小野田第一組、野田第二組、高石第四組に出場する。先づ小野田は英のアニソン、米のスミス等と組み五百米まで試泳して棄權する、佛のクリアン、匈のセンニーは落ちた。

(1) アニソン(英) 22:33.8

- (2) スミス (米) 22:48.4
- (3) クリステイ (濠) 22:48.3

第二組は瑞典アルネボルグの弟アケボルグ、英のテラーがゐる俊敏野田の苦戦思ひやられる。

- (1) アケ・ボルグ (瑞) 22:55.6
- (2) テラー (英) 23:17.2
- (3) 野田一雄 (日) 23:45.4

第三組には濠の少年チャールトン、英の老巧ハットフキールド、がゐる、チャールトンは果して悠々第一着となり、アルネボルグの世界記録廿一分卅五秒六、及びホデソンの保持するオリンピック記録廿二分を苦もなく破り去つた。

- (1) チャールトン (濠) 21:20.4
- (2) ハットフキールド (英) 22:26.8
- (3) ハウエル (米) 22:48.0

第四組はわが高石とアルネボルグと組み、高石よく力泳して入選し準決勝出場の資格を得たのは偉勳であつた。ボルグはさすがに廿一分十一秒一の新記録を以て先刻作つた計りのチャールトンの記録を一蹴したのである

- (1) アルネボルグ (瑞) 21:11.1
- (2) 高石勝男 (日) 22:45.4
- (3) バシアルホ (伊) 25:05.0

第五組

- (1) ボレベア (濠) 22:17.0
- (2) バーナード (加) 23:11.0
- (3) ベレグレー (佛) 24:43.0

準決勝 (1500米自由)

七月十四日午前十時卅分開始水温22度半、十一名を二組に分ち、二着迄及びベストサード一名入選のこと、日本高石は克く第二の難關を制服し得るか。

第二組はチャールトン、アルネ・ボルグ、ハットフキールドの優勝候補が組み、大接戦を演じたが、何れも自重せるものかタイムは上らなかつた。

- | | | |
|-----|------------------|---------|
| 第一組 | (1) チャールトン (濠) | 21:28.1 |
| | (2) アルネボルグ (瑞) | 21:50.6 |
| | (3) ハットフキールド (英) | 21:54.0 |
| 第二組 | (4) スミス (米) | 22:39.8 |
| | (5) バアノット (加) | 23:02.4 |
| | (6) テイラア (英) | 23:13.8 |
| | (1) ボレベア (濠) | 21:41.6 |
| | (2) 高石 (日) | 21:49.4 |
| | (3) アケボルグ (瑞) | 21:59.4 |
| | (4) アニソン (英) | 23:11.8 |

第一組には濠の主將ボレベア、瑞のアルネボルグの弟アケボルグが控へてゐる、わが高石としては兩者のうち何れかを敗つて是が非でも二着に喰ひ込む

か、或ひはまた三着としても第一組三着のタイム以上で泳ぎベストサードに入らねばならない、其の苦衷察するに餘りある、果して此の三者の大接戦となり、千三百米までは抜きつ抜かれつ、満場の巴里人はデヤボン・タカイシを連呼して聲援する、さしものアケ・ボルグ漸く疲労しておくれ初むれば、高石もまた張りつめし氣ゆるみて、ボレベアに次第に水を明けられ、十米の差で第二着となる、此時のタイム廿一分四九秒四は大會新記録にして、日本人としては昭和二年七月新井信男が廿一分四七秒、廿一分一八秒四を出すまで破り得なかつたものである。弟の入選を確信せしアルネボルグは茫然自失、倭奴タカイシの底力に驚異の感を打たれたとはさもあるべし。

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 決勝 1500米自由) | 世 21:35.6 | アルネ・ボルグ (瑞) |
| | オ 22:00.0 | ホチソン (米) |
| | 日 22:55.4 | 野田一雄 |

七月十五日午後三時水温廿一度半、決勝出場者は五名である、瑞典アルネボルグ、濠洲チャールトンボレベアそれに扇足泳ぎで有名な英國のハットフキールド、嗟呼偉なる哉高石、よくも此處まで漕ぎ付けたものである。

- 一着 チャールトン (濠) 21:06.6
- 二着 アルネボルグ (瑞) 20:41.4 (日本來)
- 三着 ボレベア (濠) 21:48.4
- 四着 ハットフキールド (英) 21:55.6
- 五着 高石勝男 (日) 22:10.4

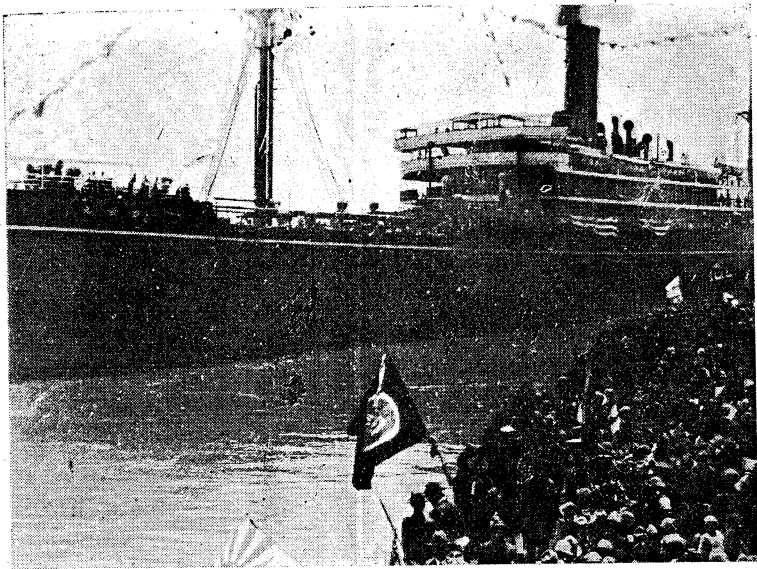
チャールトンは千五百米を廿分六秒六と云ふ驚くべきタイムで泳破し、わが高石もまた力泳して日本最初の貴重なる二點を獲得、異數の成功を収めた、此の時のタイムは日本内地に於ても大正十五年八月(新井信男21分58秒6)まで何人も破り得なかつたものである。

四百米自由形競泳

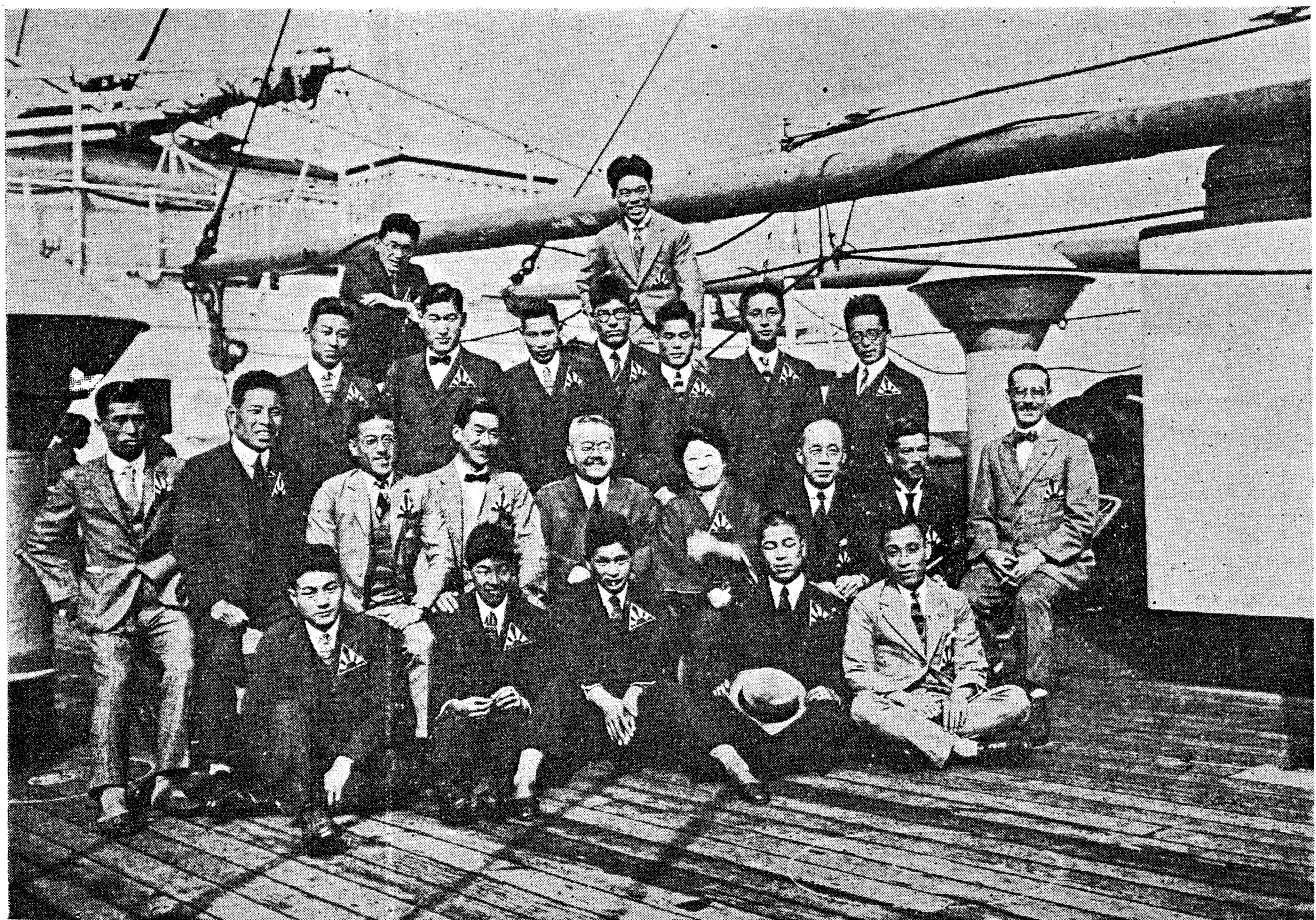
申込人員卅一名を五組に分ち、二着迄及びベストサード一名を入選とする、わが高石は第一組に、宮畑は第二組に、野田は第四組にあつたが、高石は棄權して後日に備へた、宮畑、野田は何れも三着となり落選した。

- | | | |
|-----|------------------|--------|
| 第一組 | (1) プレヤア (米) | 5:22.8 |
| | (2) ハットフキールド (英) | 5:22.6 |
| | (3) クリステイ (濠) | 5:39.2 |
| 第二組 | (1) アケ・ボルグ (瑞) | 5:28.2 |
| | (2) エグリー (匈) | 5:34.4 |
| | (3) 宮畑虎彦 (日) | 5:37.8 |
| 第三組 | (1) ヴイスミユラー (米) | 5:22.0 |
| | (2) チャールトン (濠) | 5:31.0 |

巴 里 へ !!



一 行 を 乗 せ た
香 取 丸
神 戸 解 纜



甲板上的オリンピック日本代表 第一列 左ヨリ 納戸、石田、高石、野田、谷、
第二列 竹内、金栗、澤田、野口、岸夫妻、近藤、杉本、内藤、 第三列 佐藤、二村、織
田、宮畑、上田、森田、齋藤、 第四列 田代、小野田、

	(3) ベ タ ー (英)	5:38.3
第四組	(1) アルネボルグ (瑞)	5:31.8
	(2) ボレペア (濠)	5:38.6
	(3) 野田一雄 (日)	5:43.2
第五組	(1) スミス (米)	5:32.2
	(2) アニソン (英)	5:32.4
	(3) バアナット (加)	5:35.2

準決勝 (400米自由)

七月十七日午前十時四十分水温廿一度半、決勝に残つた者十一名、之れを二組に分ち、米のプレーヤー棄権したれば出場者は拾名、日本宮畑野田は試泳としての出場であるが故に入選せざりしも憾む處はない。

結果は千五百米決勝の顔觸れにワイスミュラーが加はりだけで、ボルグ兄、チャールトン、ワイスミュラーの舞臺である。

第一組	(1) ワイスミュラー (米)	5:13.6
	(2) チャールトン (濠)	5:32.8
	(3) スミス (米)	5:37.8
	(4) バアナット (加)	5:37.8
第二組	(1) アルネボルグ (瑞)	5:21.4
	(2) アケボルグ (瑞)	5:25.0
	(3) ハットフキルド (英)	5:30.0
	(4) アニソン (英)	

決勝 (400米自由)

七月十八日午後三時十五分水温22度、世界三巨人は何れも五分十秒以内でオリンピック記録五分廿四秒を遙かに破り去つた、因に世界記録はワイスミュラーの四分五七秒である、日本記録は野田の五分卅五秒二である。

一着	ワイスミュラー (米)	5:04.2 (日本 來朝)
二着	アルネボルグ (瑞)	5:05.6 (同上)
三着	チャールトン (濠)	5:06.0
四着	アケボルグ (瑞)	5:26.0
五着	ハットフキルド (英)	5:32.0

三豪の接戦は息詰まるが如く、さしものボルグ、ワイスミュラーもゴールでは昏倒せんとする有様なりしも獨りチャールトンは悠々として餘力を示し恐るべき敵たるを示したのである。

百米自由形競泳

水上競技の精華百米競泳は七月十九日午前十時水温廿一度半、茲に幕を切つて落とした 参加者卅五名を六組に分ち二着迄及び三着中ベストサードをとる。

わが主將にして短距離の雄、小野田は布哇のカハナモク、瑞典のツロールと第一組に組み一分五秒四の好記録を出したが遂に第三着となる 第二組宮畑

は布哇のカハナモク弟及び濠の短距離勇者ヘンリーと組み一分四秒二の好タイムでベストサードとして入選す。第四組はわが高石が悠々第一着を占めた。

第一組	(1) デューク・カハナモク (米)	1:04.2
	(2) ツロール (瑞)	1:04.2
	(3) 小野田一雄 (日)	1:05.4
	(4) デリー (英)	1:08.2
第二組	(1) サム・カハナモク (米)	1:04.2 (日本 來朝)
	(2) ヘンリー (濠)	1:03.8
	(3) 宮畑虎彦 (日)	1:04.2
	(4) バデウー (佛)	1:05.2
第三組	(1) ソリラ (亞)	1:06.6
	(2) ホーソン (加)	1:07.8
	(3) カツプ (瑞)	1:11.6
	(4) レガット (チェッコ)	1:13.2
第四組	(1) 高石勝男 (日)	1:04.0
	(2) ステットマン (濠)	1:06.0
	(3) ウエルネル (瑞)	
	(4) サイビ (佛)	
	(5) デツケル (和)	
第五組	(1) ワイスミュラー (米)	1:03.8 (日本 來朝)
	(2) ビーユック (英)	1:05.2
	(3) パンチエベレン (佛)	1:06.8
	(4) ビニロ (西)	1:14.2
第六組	(1) アルネ・ボルグ (瑞)	1:05.4 (日本 來朝)
	(2) バラニー (匈)	1:07.4
	(3) アツシマコプラス (希)	1:08.4
	(4) バラツセ (チェッコ)	1:11.6
	(5) シヤコブソン (和)	1:13.2

準決勝 (100米自由)

七月十九日午後三時水温廿二度、出場者十三名を二組に分ち、三等迄を入選とす。

第一組	(1) サム・カハナモク (米)	1:01.1
	(2) デューク・カハモク (米)	1:02.2
	(3) 高石勝男 (日)	1:02.4
	(4) ツロール (瑞)	1:02.8
	(5) ホーソン (加)	1:06.6
	(6) バラニー (匈)	1:08.0

(アムステルダム二等)

高石力泳して瑞のツロール選手を一蹴し、更にカハナモクを抜かんとせしがタツチの差で三着となる、タイム一分二秒四、奮闘克く決勝に入り得たのは大殊勳であつた。昭和三年アムステルダム大會にワイスミュラーに次いで第二位を占め、わが高石を三等に落とせしバラニーも、此の組ではあへなく六着、殆んど其存在を認められなかつたのである。

第二組	(1) ワイスミュラー (米)	1:00.8
-----	-----------------	--------

- (2) アルネボルグ (瑞) 1:03.3
- (3) ヘンリー (濠) 1:04.0
- (4) ビーコック (英) 1:05.4
- (5) ステツドマン (濠) 1:07.4
- (6) ズリラ (亞) 1:07.6

(アムステムダム米一等)

決勝 (100米自由) { 世 58.6 ワイスミユラー (米)
オ 60.4 Jカハナクモ (米)
日 65.0 入谷、高石

- 一着 ワイスミユラー (米) 0:59.0 (日本來朝)
- 二着 Jカハナモク (米) 1:01.4
- 三着 Sカハナモク (米) 1:01.8 (日本來朝)
- 四着 アルネ・ボルグ (瑞) 1:02.0 (同上)
- 五着 高石勝男 (日) 1:03.0

高石スタート頗る悪しく、後半に至りよく力泳せしが遂にボルグを抜く能はず、併しながら世界巨豪に伍して、此の榮えある成績を挙げ得たのは祖國日本の聲價を知らしめたものである。

百米背泳

第一豫選は七月十六日午後十二時卅分水温²²度、五組に分ち行はれた、石田恒信は第二組に出場して四着、齋藤巍洋は第四組に於て二着入選す、布哇のケヤロハ斷然頭角を現はしてゐる。

- 第一組 { (1) ケヤロハ (米) 1:13.6
(2) アリツツ (白) 1:19.6
(3) ワシントン (英) 1:23.4
(4) デューコ (佛) 1:25.0
- 第二組 { (1) バルタ (匈) 1:18.8
(2) デウナルド (英) 1:21.6
(3) ウィンゲルブルグ (和) 1:26.4
(4) 石田恒信 (日) 1:26.4
- 第三組 { (1) ワツテ (米) 1:19.4
(2) サイビ (佛) 1:21.8
(3) モースス (ルクセンブルグ)
- 第四組 { (1) ローリンソン (英) 1:18.8
(2) 齋藤巍洋 (日) 1:20.0
(3) ホリ (伊)
- 第五組 { (1) タウロウ (諾) 1:24.0
(2) スコグラント (瑞) 1:27.0
(3) ケーホルン (ルクセン) 1:29.4
(4) レガット (チエツコ) 1:29.6

準決勝 (100米背泳)

七月十七日午前十一時二十分水温廿一度半、二組に分ち行ふ、わが齋藤選手は第一組にて、惜しくもタッチの差で四等となつたが、決勝に五名きり出場せず、且つタイムもよかりし爲め特に六等一點を與へられた。

- 第一組 { (1) ケヤロハ (米) 1:13.6
(2) ワツテ (米) 1:17.2
(3) バルタ (匈) 1:19.4
(4) 齋藤巍洋 (日) 1:19.6
(5) ドナルト (英) 1:22.0
(6) スコグラント (瑞) 1:26.0

- 第二組 { (1) アリツツ (白) 1:19.4
(2) ローリンソン (英) 1:19.4
(3) サイビ (佛) 1:23.4
(4) ワシントン (英) 1:24.2
(5) タウロウ (諾) 1:24.2

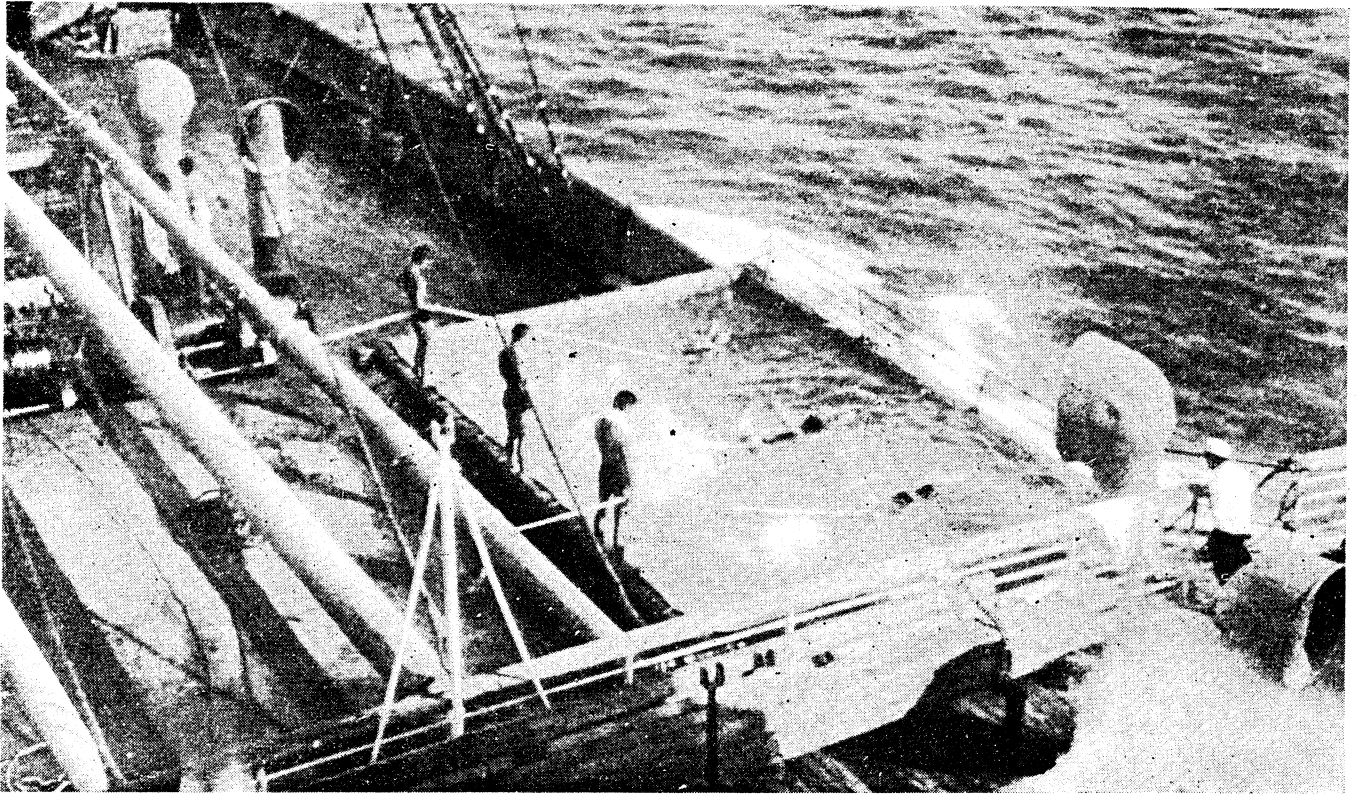
決勝 (100米背泳) { 世 1:12.6 ケヤロハ (米)
オ 1:14.0 "
日 1:18.0 上田治

- 一着 ケヤロハ (米) 1:13.2 (日本來朝)
- 二着 ワツテ (米) 1:15.4
- 三着 バルタ (匈) 1:17.8
- 四着 アリツツ (白) 1:19.6
- 五着 ローリンソン (英) 1:20.0
- 六等 齋藤巍洋 (日)

二百米平泳

七月十五日午前十時開始、水温廿一度、わが石田恒信は第一豫選第五組に出場し、三分九秒二の好記録をあけたが、四着となつて失格した。スケルトン、カシユバムを有する米國に對し、ヘーニング、リントルス等を揃へて瑞典、之の間にありて虎視眈々たる白耳義のデコンベあり、何れも三分台を割らんとする猛者である。二等まで及びベストサード一名を入選とする。

- 第一組 { (1) スケルトン (米) 2:56.0
(2) ヘーニング (瑞) 3:02.4
(3) ビツキー (匈) 3:05.4
(4) ステツトマン (濠) 3:05.6
(5) ストネー (英) 3:10.8
(6) アアレー (佛) 3:11.2
- 第二組 { (1) テコンベ (白) 3:01.6
(2) アリシー (米) 3:07.0
(3) マウー (英) 3:09.8
- 第三組 { (1) カシユバム (米) 3:01.0
(2) ビオバタイ (チエツコ) 3:07.6
(3) ジョハンソン (瑞) 3:12.2
- 第四組 { (1) フリント (英) 3:05.6
(2) ホロシー (匈) 3:06.4
(3) ブービエ (佛) 3:07.8
- 第五組 { (1) リントルス (瑞) 3:03.4
(2) ヴイス (瑞西) 3:03.6
(3) ヘヤード (新蘭) 3:09.0
(4) 石田恒信 (日) 3:09.2



香取丸甲板上のキャンバスプールにて練習



巴里スポーツ、クラブに於ける練習を終へて（同クラブ前）

準決勝 (200米平泳)

七月十六日午後三時三十分水温廿一度半、

- 第一組
- (1) スケルトン (米) 3:00.2
 - (2) カシユバム (米) 3:02.2
 - (3) ヴ イ ス (瑞西) 3:04.2
 - (4) ホ ロ シ ー (匈) 3:05.6
 - (5) フ リ ン ト (英) 3:06.8
 - (6) ピオバテイ (チェツコ) 3:11.8
- 第二組
- (1) デ コ ン ベ (白) 3:00.2
 - (2) リ ン デ ル ス (瑞) 3:01.4
 - (3) ヘ ー ニ ン グ (瑞) 3:05.0
 - (4) フ ア リ シ ー (米) 3:07.0
 - (5) ビ ッ キ ー (匈) 3:09.2

- 決勝 (200米平泳)
- 世 2:54.4 ラデマツヘル (獨)
 - オ 3:01.8 バ ー テ (獨)
 - 日 3:10.2 石田 恒信

七月十七日午後四時十五分水温廿二度、

スケルトン以下三着迄何れもオリンピック記録を破る、カシユバムは昭和二年十月玉川に於て我が鶴田、馬渡等と雌雄を決した。米國平泳の勇者である。

- 一 着 スケルトン (米) 2:56.6
- 二 着 デ コ ン ベ (白) 2:59.0
- 三 着 カシユバム (米) 3:00.0 (日本來朝)
- 四 着 リ ン デ ル ス (瑞) 3:02.2
- 五 着 ヴ イ ス (瑞西) 3:05.6

八百米リレー

第一豫選は七月十八日午前十時、水温廿一度半、参加國十五ヶ國之れを四組に分ち、二着迄及びベストサードをとる、日本は此の種目をねらつて居るだけに必勝の意氣込で出場した

第一組 米國、伊太利、西班牙、ユーゴスラビヤの四ヶ國。

- (1) 米國チーム 10:41.6 {プレヤー、オコンナア、グランシー、ハウエル}
- (2) 西班牙チーム 11:05.2

第二組 希臘、瑞典、和蘭、匈牙利の四ヶ國、

- (1) 瑞典チーム 11:15.4 {ヘーニング、ウエルネル、アケホルグ、ツロール}
- (2) 和蘭チーム 11:25.6

第三組 濠、日、チェツコスロバキア、アルゼンチンの四ヶ國

- (1) 濠洲チーム 10:21.2 {ステットマン、クリステ、ホレベア、ヘンリー}
- (2) 日本チーム 10:24.2 {野田、宮畑、小野田、高石}

第四組 英、佛、白の三ヶ國

- (1) 佛國チーム 10:14 {ベンチエバラン、サイビ、ミットルトン、バズー}

(2) 英國チーム 10:52.3 {サーベージ、ベター、テツケン、アニソン}

準決勝 (80米リレー)

七月十八日午後五時三十分水温廿二度、準決勝に残つたのは米、濠、瑞典、日本、西班牙、和蘭、英、佛の八ヶ國にしてチェツコはベストサードで入選せしも棄權した、

- 第一組
- (1) 濠洲 10:27.0
 - (2) 英國 10:31.0
 - (3) 佛國 10:39.4
 - (4) 和蘭 11:39.4

- 第二組
- (1) 米國 9:59.4 {プレヤー、オコンナア、グランシー、ハウエル}
 - (2) 瑞典 10:08.2 {ヘーニング、アケホルグ、ツロール、アルネホルグ}
 - (3) 日本 10:12.4 {高石、野田、宮畑、小野田}
 - (4) 伊國 11:04.0

八百米リレー決勝

- 世界記録 10:04.2 米國チーム
- 七月廿日午前九時半開始
- オリ記録 10:04.2 水温廿二度
- 日本記録 10:42.2 濱名游泳

日本が遙々巴里に來たのは此の種目と千五百と背泳とをねらつて居るのである。就中最も確實味あるは即ち之れである 巴里新聞の豫想は米、濠、瑞、日の順序と報じたのであるが、當時の日本チームとしては、より以上高い處を目指して居たのは事實である。然るに此の新聞の豫想が的中して小さいながらも三等の旗を揚げ得なかつたのは是非もなま次第であらう。

八百リレーの経過は、米國グランシー先頭を切り、濠のボレベア之れに次ぎ日本宮畑第三位に進む、米は二米突を先んじて二番プレヤーに引繼ぐ、二米おくれて濠の二番チャールトン、更らに二米おくれて日本の高石飛び込む、高石力泳して濠のチャールトンと共に米のプレシャーに肉迫して殆んど之れと一線を爲さんとする時三番泳者に移る、日本三番野田は米のオコンナア濠のクリステイと共に力泳して瑞典のツロール選手を遙か後方に残す、愈々ラストになれば米の大豪ワイスマユラー先發し、濠のヘンリー續いて發し日本小野田が飛び込んだ時には瑞典より約廿五メートル先んじて居た。瑞のラスト世界の強豪アルネ・ボルグ五十米突を廿九秒、百米を一分四秒で泳破し小野田の後方二米に迫る、既にしてボルグは百五十米で遂に小野田と頭を並べ、百七十五米にて之れをぬく、彼のタイム實に二分十九秒二、小野田のタイム二分卅九秒、かくて第三位をねらひ

し日本は彼れ一人の爲め惜しくも第四位に甘んぜねばならなくなつた。されども濠洲瑞典と競ひ米國に迫つた奮闘振りは天晴れな功績にして、高石のタイムは實に二分廿六秒八、個人タイムとしては米のワイスミユラーに次ぐもの、日本人最初の二分二十秒臺なることを牢記せねばなるまい。或ひは高石をラストたらしめざりしは作戦のあやまりなりと云ふ者ありしも、それは結果から見た望蜀の説であらう。

一着 米國チーム	9:53.4
ブ レ ャ ー	2:27.8
オ コ ン ナ ア	2:28.8
グ ラ ン シ ー	2:31.8 (日本來朝)
ワ イ ス ミ ュ ラ ー	2:25.0
二着 濠洲チーム	10:02.2
ボ レ ベ ア	2:29.2
チ ャ ー ル ト ン	2:27.8
ク リ ス チ ー	2:31.8
ヘ ン リ ー	2:23.4
三着 瑞典チーム	10:06.8
ウ エ ル ネ ル	2:40.2
ア ケ ボ ル グ	2:34.0
ツ ロ ー ル	2:33.4
ア ル ネ ボ ル グ	2:19.2
四着 日本チーム	10:15.2
宮 畑	2:31.8
高 石	2:26.8
野 田	2:37.6
小 野 田	2:39.0
五着 英國チーム	10:21.4
ト ム ソ ン	2:35.0
デ ツ ケ ン	2:37.0
ベ タ ー	2:36.0
ア ニ ソ ン	2:33.4

〔男子競泳成績〕

	一等	二等	三等	四等	五等	六等
百米自米	米	米	米	瑞	日(高石)瑞	日(高石)瑞
四百自米	米	瑞	濠	瑞	英	米
千五百自	濠	瑞	濠	英	日(高石)瑞	日(高石)瑞
百背泳米	米	米	匈	白	英	日(齋藤)
二百平泳米	米	白	米	瑞	瑞西	瑞
八百リレ米	濠	瑞	日	日(日本)英	佛	
順位、得點						
(1)	米	69		(5)	白	8
(2)	瑞 典	26		(6)	日	8
(3)	濠	26		(7)	匈	4
(4)	英	9		(8)	瑞 西	2

〔女子競泳成績〕

100 米自由	(七月廿日午後四時)	世 1:13.6	ブレイトブレー
		オ	〃
		日 1:25.4	永井花子
(1)	ラ ッ キ ー (米)	1:12.4	
(2)	ウ エ ス ラ ウ (米)	1:12.8	
(3)	エ ダ ー ル (米)	1:14.2	
(4)	セ ー ン ス (英)	1:15.4	
(5)	タ ナ ア (英)	1:20.8	
400 米自由		世 5:53.2	エダール(米)
		オ	新種目
		日 7:11.0	入江廣子
(1)	ノ レ リ ア (米)	6:02.2	
(2)	ウ エ ン ラ イ ト (米)	6:03.8	
(3)	エ ダ ー ル (米)	6:04.8	
(4)	モ レ ス ウ オ ス ー (英)	6:25.4	
100 米背泳	(七月廿日午後四時貳拾分)	世 1:35.0	ムレロバ(チエツコ)
		オ	新種目
		日 1:42.2	入江廣子
(1)	ホ ア (米)	1:23.2	
(2)	ハ ー チ ン グ (英)	1:27.4	
(3)	リ ヨ ギ ン (米)	1:23.2	
(4)	チ ャ ン バ ー ス (米)	1:30.8	
(5)	ム レ ロ バ (チエツコ)	1:31.2	
200 米平泳	(七月十七日午後三時)	世 3:20.4	ギルバート(英)
		オ	新種目
(1)	モ ル ト ン (英)	3:33.2	
(2)	グ ラ イ チ ー (米)	3:34.0	
(3)	カ ル ソ ン (英)	3:35.4	
(4)	ベ ッ テ ル ソ ン	3:37.6	
(5)	ギ ル バ ア ト (英)	3:38.0	
(6)	コ ス テ ル (ルクセンブルグ)	3:39.2	

400 米リレ	(七月十八日午後三時)	世 5:11.6	米 國
		オ	同 上
(1)	米國チーム	4:58.8	(4) 丁 抹 5:42.4
(2)	英國チーム	5:17.0	(5) 佛 國 5:42.4
(3)	瑞典チーム	5:35.6	(6) 和 蘭 5:43.8

四百自由、百米背泳、二百平泳は此回から追加さる得點 米 70 英 36 瑞典 7 丁抹 3 佛 2 チエツコ 2 和 2 ルクセンブルグ 2

第八回國際オリソピツク大會水上競技に於て、米國は斷然第一位を占め、日本は高石よく百米千五百米に各五等を占め、齋藤は背泳で六等をかち得、八百リレーに日本チームは四等をを得て、合計八點をあけ男子競泳では世界第六位となつた、かくて日本は一躍世界水泳界に認められたのである。(以下次號)

女 子 競 泳 N S R セ ク シ ョ ン

更生する女子水泳界

白 山 弘 子

女子水泳界の成長は恐らく私等の成長と同じ年月道程を歩んで来た物と云ふ事が出来ると存じます。少くとも競泳界を中心にして見た場合はそうなのです。今より十數年前大黒帽子の様な白布の水泳帽を冠つて存外無恰好な水着をも臆面なく着て、只水で遊ぶと云ふ面白さから「泳げる」即ち水を征服したと云ふ事の誇り、さては其技を競ふと云ふ競争心にまで進みました。此時期に於ては各自の得意な種目に不徹底ながらも様々な體驗をする事が出来る機会がまゐりました。それは男子競泳大會の一部に女子が加へられる様になつた事でした。

此頃でしたでせうか杉本傳先生にゴム製の輸入帽子を買つて戴いた事が御座居ました。然し此を只得意顔に冠る事は出来ませんでした。既に此帽子を冠つて一步先に活躍する海の彼方のすばらしい人魚等を想像する時強い刺戟を受けたのでした。そして一人よがりの水の女王様等もだんだん記録を気にしだす一方、今まで受動的な氣持から能動的な氣持になつて、自分等にもいゝ先生がほしい、或はプールが欲しいと望むやうになりました。或ひは男子の方々の練習場に押かけて行き盗み聞き盗み見をしては一生懸命に自分等の進歩を計つた物でした。そして此期間は相當に永い間續いて其間には女子の水泳會を催す會も幾多出来てまゐりました。特に關西、京都方面にあつては未だ「女だてらに人さんの前で裸で泳ぎ廻るなんて」と云ふ人々の多い頃にあつた私等には非常に力強い後援者であり指導者でありました。そして遠近に選手生活をしたのもずいぶん永い間でしたがさて後に續々新進選手を見る時、又だんだん女子の舞臺が擴がるにつれて私等には自分の練習以外の仕事が出来てまゐりました。今度は自己本位でなく、後輩の方々の爲に、又女子水泳の爲にはと云ふ氣持が出て女學校を出るやうになつた計りの私等はそろそろ小さい水のお友達を作る事をお手傳ひ致しました。私等の中で、或方は女學校の夏期講習に、或方は海濱の講習場に、又は市設プールにまつくろになつてお盡しになりました。そして二三年の後いよ

いよ女子水泳界は年頃になり、勇みかへつて居る私等には又一つ大きい願望が湧き出しました。丁度此時にかねて水泳ファンとして私等をも可愛がつて居て下さる名物おばさんのお持ちになつて居る或お考へにも合致したらしく其お話も着々進み、おばさんの献身的な御努力によつて無理な所もどうか通つて一つの女子團體が生れ、私等の力むに甲斐ある所が出来た理でした。そして皆一つになつて兎に角守り立て、日本女子水泳界に何程かの歴史を残して四年。然し又此處に種々のデリケートな問題や、第一期生とも云ふべき先輩諸姉の御結婚等によつて其御心盡しの程は變らなくとも學生時代の様に氣軽く飛び出る事の出来ない場合の多くなると云ふ様な事の爲に自から他にもつとよき方法を、又女子水泳界をより進歩させる爲には變な意地を張る時ではない、何かもつと統一の出来る機關にしたい等と云ふ希望が誰の胸にも自然に養はれて来て居りました。そして第十回オリンピックに又一段と女子の舞臺が擴げられ更に次回オリンピックに備へねばならぬ重大な責任が與へられる事になつたのでござります。こうして今後ますます多忙となる時に當つて幸ひ日本水上競技聯の下に従前通りの女子の方々に新手の抱負豊かな方々をも加へて組織された女子部が設置されるに至つた事は、私等にとつて大きい重い荷物が安心して預けられる場所が出来たと云ふ理でござります。然し決して預けつ放しにしたくは御座居ません先輩諸兄の御指導を得て女子水泳界の爲に全國の皆様と連鎖的に手を握り合つていよいよ研究努力前進致したいと存じますからどうぞ諸先生諸兄姉の御鞭達を専ら願ひ申上ますと同時に又各地の選手諸嬢にも力強い御同情と御後援が願ひ致したう存じます。そして競争國の多い世界に水泳王國の名を男子の方のみで脊負つてゐらつしやるのも大へんですから私等女子も片腕になつてゆるがせない様お手傳ひしようでは御座居ませんか。(完)

五月二十四日

女子競泳選手の合宿

醫學博士 太田正隆

女流選手の合宿に於て睡眠及栄養問題の肝要なる事は男子の場合と全く同様であるが、女は男子よりも食餌の好き嫌ひが時によつて（月経など、関係がある事もある）甚しく成る爲め滋養素の攝取が偏る恐れがあるから、充分注意を要する。

尙女子選手合宿でコーチにとつて面倒で且つ肝要な事は月経の問題である。

競技近くなればコーチは選手全部の月経の期日を大體心得て居らねばならぬのであるが、茲に月経の感染と云ふ事がある。或一人が月経が始まると、傍に寝起きして居る第二の人が期日より早く月経が来て、更に第三、第四と感染するのである。

一體感染とは精神的傳染であつて感應とも云ふのであるが、男でも女でも暗示性に富む者ほど、精神の感應が甚しいのであつて、女は特に暗示性が強いから精神の感應は甚しいのである。

扱て精神の作用と身體の生理的又は病的現象とは非常に密接な関係があるもので、之は大脳皮質（人間の精神作用を司る所）の働きと自律性神経系（人の内臓例へば肺、心、胃、腸、肝、脾、腎、膀胱、子宮、卵巣等に分布する神経で、精神の命令に支配される筋肉に分布する運動神経と別の神経系統である）の働きとの間に深い関係の有る爲めである。例へば酔い物を見て之を食べたらスツバイだらうと脳で思ふと、唾液が知らず識らずの間に分泌して來たり、うまさうな果物を見ると、しきりに胃液の分泌が充まるが如きである。

又病的現象としては人の嘔吐を見て不快な感を腦中に起すと自分も嘔吐するが如き事がある。即嘔吐の感染であつて、之は感應性嘔吐とも云はれる。

其故人の月経を見るか又は聞いて月経の事が觀念として腦中に現はれると、其れが或る刺戟と成つて自律性神経系が興奮して月経を促すのであらうと思ふ。之が月経感染の生理的本態であらうと考へる。

扱て然らば女子選手のコーチは、此の月経の感染を利用し、更に食餌をも顧慮して各選手の月経の遅速を多少なりとも人工的に變化させる事が出来るかも知れぬから参考までに記して見やう。

（一）月経を速めるには

（イ）精神的方面

合宿で月経のある選手と同室させる事、又月経の

話などをして精神的に感應せしめる事。

（ロ）身體的方面

腸に血液を多くする目的で便秘する様な食物を與へる事。又下部の血行をよくする爲め下腹部及び大腿部を出来るだけ温める事。即ちカイロを用ひたり、布を巻くやうにする事。便秘する食物と言つても或る食物は甲には便秘がちになつても乙には少しもきかぬ事があつて一樣に言へぬが大體野菜類を少くして獸肉、魚肉を攝取するやうにすればよからう。

（二）月経を遅らすには

（イ）精神的方面

月経のある選手と同室せしめざる事。月経の話などは嚴禁する事。

（ロ）身體的方面

常に腸の内容物を空にして置く事。即便通のつき易き食物を用ふる事。ヴイタミンBの多き野菜類、トマト、キアベツ等を澤山とり又リンゴ、オレンジ等の果物を充分攝取せしめる事。又下腹部及生殖器の血行を少くする爲めに下部を温めぬ様にする事。

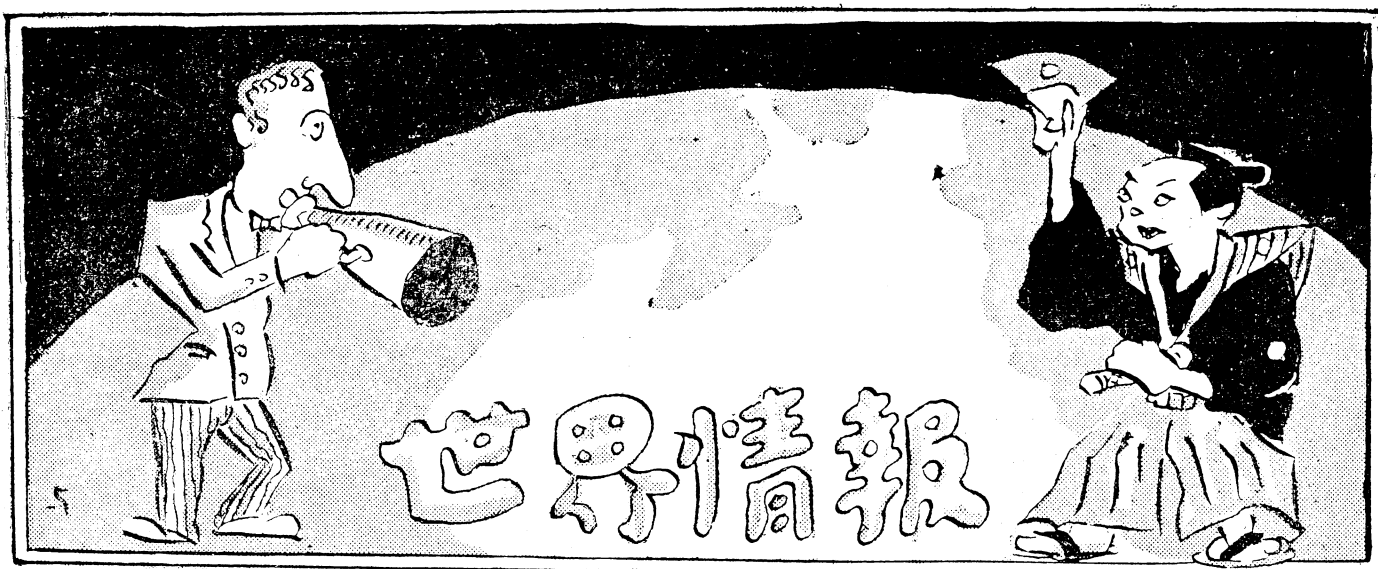
（三）競泳タイムは月経と如何なる関係があるか

端泳期日に月経の來た場合でも月経困難で下腹部に疼痛を來すが如き人は別として、然らざる選手はどうしてもやらねばならぬ。此の場合タイムは悪い人の方が多い。之は月経の爲め體力が衰へて居るばかりではなく、頭腦の働きが平常と變つて、精神的にひけめがある爲めの方がむしろ餘計に影響する。一體月経の際には身體の下部に多くの血液が行くから、いくらか通常より腦に貧血がある爲め或は頭痛がしたり、又は氣がいらして精神の落付きを缺く事がある。是がタイムに悪影響を來すのである。

（四）競泳の月経に及ぼす影響

月経中は成可く水泳をせぬやうにして居れば月経不順又は月経困難等の病的現象を起すやうな悪影響はない。月経量に關しても亦大した影響はないらしい。

水泳警事に關しては太田博士の水泳瑣談を御み下さい。



一、一九三二年の世界水泳界の驚異的成績

米國の運動記者連が昨一九三二年中の水泳界全般の成績中で最も驚異すべきものは何であるかについて考究したが、大體オリンピックに於ける日本チーム（宮崎、遊佐、豊田、横山）の八百米リレーの八分五八秒四が最上位であることに一致した。男女子の個人競技に就いては意見がまちまちであるが男子千五百米自由形に於ける北村の一分一・二秒四と女子四〇〇米自由形に於けるレノア・カイト嬢の五分二八秒六の両者が最も注目すべきものであらうとされて居る。北村のタイムは接近し得べからざるものと信ぜられて居た。アルネ・ボルグの一分九秒七に接近したのみならず、未成年の少年北村に依つてなされた點が特に驚異に値する。カイトのタイムはオリンピック大會の豫選中に出したもので決勝にはマヂソンに敗れた。泳ぎそのものではマヂソンに勝つたがスタート及びターンで、身長之差で敗れたものである。

二、バックラツクの隱退

イリノイ A・C でワイスミユラーを始めとして多數の選手を育てあげ數度オリンピックのコーチとして活躍した指導家ビル・バックラツクはイリノイ A・C を去つたさうである。ワイスミユラーがプロフェッショナルとなつて同クラブを去つて後、其の給料を激減されたと傳へられて居たが、同クラブが水泳を盛にやる意志がなくなつた爲にバックラツクが入らなくなつたのであらう。

三、南阿の新星

南アフリカ・ケープタウンのジョーン・ロイテル

と云ふ十六の少年が二二〇碼自由型に二分三・一秒八を出して南阿記録二分三四秒六を破つた。其の後二五碼競泳池に於て一〇〇碼自由型に五七秒二を出して南阿記録五六秒八に迫り頗る有望視されて居る。又ヨハネスブルクのキャスリーン・ラツセル嬢は同市の五〇碼競泳に於て一〇〇碼自由型に一分三秒四の好記録を以て南阿記録一分五秒を破つた。昨年三月末マヂソン嬢が五五碼競泳池に於て作つた一分三秒の米國長水路記録に近寄つた素晴らしいものである。五〇碼水路では長水路の資格はないが何れにしてもターンは一回であるから、記録の價値に變りはない。昨年のオリンピック大會に一〇〇米六等、四〇〇米三等を得たマーカル嬢は二着となつた。

四、歐米對抗女子水泳競技

本年夏期に米國ロングアイランドのジョーンズ・ビーチに於て歐洲と米國の著名女流選手が對抗競技を行ふさうである。歐洲の選手が最近めきめき腕を上げて居るのに對して米國は第一入者ヘレン・マヂソンのアマター失格、サヴィール夫人（エリナー・ガラツチ）の引退に依つて二強豪を失ひ、尙最近シネマ關係に入つたエリナー・ホルムの出場が疑問視されて居るので、丁度よい取組だと觀測されて居る。

五、伊太利の日本水泳研究

歐洲で最初に日本水泳を取入れやうとして居るのは伊本利である。ローマのラツイオ、スポーツクラブでは日本クロールに關する研究資料を出來得る限り集め日本選手を寫したフィルムを蒐集した。三十餘種の寫眞をローマ水泳場に陳列して展

覽せしめたが指導者及び競技者に多大の印象を與へた。新聞の報ずる所に依ると、全伊太利は日本クロールを採用することになるのは疑ふ迄もないさうである。

六、米國背泳選手ゼーアの其の後

米國インディアナ州フオート・ウエーンの片田舎から突然飛出して米國オリンピック選手となり一躍大會で背泳の優勝候補と目されるに至つたロバート・ダン・ゼーアは昨年末同地方のYMCAの二〇碼競泳池に於て一〇〇碼背泳の米國記録を破つた。ゼーアの記録は一分〇秒八でワイスマユラー保持の米國記録を丁度一秒だけ短縮して居る。二五碼水路の最高記録はコーヂヤツクの一一分一秒四であるが、之を破ることが出来さうだとゼーアは云つて居る。

七、佛蘭西の水上聯盟

は國際水泳聯盟のアマター規則を履行することに決定した。此の規則はすべて有給の人命救助員、水泳教師、指導者及び水泳場監視員等をプロフェツショナルと見ると云ふので、飛込選手ルバージュは現在の地位を變へない限り此の規則に抵觸するたらうと新聞は報じて居る。

八、瑞典水泳界の紛争

瑞典水上聯盟は紛争を續けて居たが、遂に最頂點に達して會議に於て會長エリク・ベルクフアルは失墜して、バツクルントが會長に選舉された。ベルクフアルは國際水泳聯盟(FINA)の前會長で昨年のオリンピック大會にも活動して居た國際水泳界知名の士である。

八、キヤルトンネの決意

佛蘭西のジャツク・キヤルトンネは今年二五碼水路で一〇〇米平泳一分一三秒、二〇〇米平泳二分四二秒六の世界新記録を作つたが今度はクロールに精進するのだと云つて平泳を一切止めてしまつた。豫定されて居た強敵との仕合も一切取消してしまつた。今度の決心は永久でないにしても急に變りさうもないさうである。

一〇、濠洲の新人

バトリシア・ノートン嬢(一三歳) 二二〇碼自由形二分四九秒八(五五碼水路)
アラン・クロフオード(一五歳) 一〇〇碼自由

形 五六秒六(ジュニア・レコード)

アーサー・バーグ(一五歳)

二二〇碼自由形 二分二九秒四

四四〇碼自由形 五分二七秒〇

八八〇碼自由形 一一分一七秒〇

ヴオツクラー 二二〇碼自由型 二分二〇秒六
(新記録)

高石君がシドニーで作つた二分一七秒には及ばないから濠洲人のみの記録を破つたと云ふのであらう。

ウィザース 四四〇碼背泳 六分一秒六(新記録)

ジョン・マツケンダー嬢(一四歳) 二二〇碼自由形 二分四九秒六

一一、黒人水球

ニューカレドニヤ(佛領)の黒人水球隊は非常に強いとの評判で濠洲から招かれて遠征した。全勝を豫想されて居たのであつたが、事實は此に反して第一戦として對戦したニューサウスウエールスの選抜チームに六對二で敗退した。

一二、米國の飛込選手フランク・カーツ

はマイオラ・カリリと二人で濠洲から招かれて遠征中であつたが歸路に歐洲を廻つて各地で演技するさうである。カリリはシドニーに於ける最終の四四〇碼競泳でライアンに五分六秒對五分九秒で負けた。九路は一〇碼、カリリは今秋迄メルボーンに契約されてゐるハワイ人隊に参加してゐる爲に歸米はずつと後れるさうである。

一三、濠洲シドニーのエドナ・デイヴィー嬢

は五五碼競泳池で行はれたニュー・サウス・ウエールスの選手權に於て八八〇碼一分二七秒六で優勝し舊記録一分二八秒四を破つた。デイヴィー嬢は今春八八〇碼一分二秒八のタイムを出したが五〇碼の潮流のある水路で、而も寄數回数であつたので公認記録とはならなかつた。

一四、全濠洲選手權大會

濠洲メルボルンの新星、ゴットフレー・ヴオツクラーはアデレイド及パースに於て舉行された全濠洲選手權大會に於て新記録を作つた。二二〇碼自由形ではノエル・ライアンを破つて二分一秒四で優勝して濠洲新記録を作つた。ライアンは四四〇碼、五分一秒、八八〇碼、一〇分四八秒八、一哩二分一五秒で優勝した。平泳に於ては二二

〇碼四四〇碼共に二分五六秒八・六分四〇秒でアラン・ヒツギンソンが優勝した。六分四〇秒は濠洲記録であつた。一〇〇碼自由はフーパー五七秒四、一〇〇碼背泳はキング、一分一二秒四、飛込はマスターズ優勝。

女子ではフランセス・ブルト・一〇〇碼、一分三秒六；二二〇碼二分四二秒四(新記録)エドナ・デイヴィー四四〇碼六分一秒二、八八〇碼一分二秒八(新記録)クレア・デニス・二二〇碼平泳三分九秒二(新記録)ボンニー・ミーリングは一〇〇碼背泳に一分一二秒四で優勝したが、観客を最も驚かしたのは、二二〇碼自由形に於て背泳で泳ぎ通し、二分五二秒八で三着となつた事で、短水路で泳げば二分五〇秒四の世界記録を破り得るものだと報ぜられて居る。然し出發が背泳の出發に依つたか飛込方は判明して居ない。

濠洲遠征中のマイオラ・カリリは好調に復して濠洲記録を作つた。一〇〇碼五三秒、二二〇碼、二分一六秒二、二二〇碼背泳二分四二秒四、然しシドニーで一〇〇碼背泳に於てベソモに一分五秒六の濠洲新記録で敗れた。

一五、タリス

佛蘭西のタリスは四〇〇米の自己の世界記録四分四七秒を破るべく試みだが、四分五二秒六で失敗した。此は手を空中で伸ばしたまゝ返して居たのを、日本選手の様子に曲げて返す様にしたので一時的現象だとされてゐる。ベント・リカブリーに慣れたら又素晴らしいタイムを出すだらうと期待されて居る。

一六、ニュージーランド選手権大會

(ナビアの一〇〇呎競泳池で開催)モナ・レイドン嬢(一七歳)は二二〇碼二分四秒、四四〇碼六分〇秒二の好記録を出した。レイドン嬢が最初に現はれたのはオークランドの四四〇碼選手権の時であつた。子供の時から左脚がしつかりしないので鐵具をつけて締めて居たが、鐵具を外してスタートに立ち、銃聲で飛込んだ。驚異の眼を以て見つめて居る観客にかまはず彼女はぐんぐん先頭を切つて五分五九秒六の新記録を作つて優勝した。

一七、瑞典のステン・オラーフ・ホルデン

と云ふ一六歳の少年がストックホルムに於て一〇〇米自由形一分一秒八、一〇〇米背泳一分一二秒三の好記録を出した。水路は二五碼。

一八、プロフェツレヨナルとなつた瑞典のアルネ・ボルグ

は四〇〇米のプロフェツレヨナル世界記録四分四四秒を出した。米國のメゼカの四分四二秒四には及ばぬがボルグ自身最近に四分四〇秒以下にして見せると言明した。

一九、キヤルトンネの世界記録

佛蘭西のジャックキヤルトンネは昨年ロサンヂェルスのオリムピック大會の際統制に従はなかつたと云ふので佛蘭西水上聯盟から三ヶ月間競技出場を禁止されたが、期限満了後大發奮して二〇〇碼平泳に世界記録を作つた。此の記録は巴里の二五米競泳池で作られたもので、スプリットタイムは五〇米、三三秒六、一〇〇米一分一四秒、一五〇米一分五七秒、二〇〇碼二分二五秒六、從來の記録はナルター・スペインスが一九二七年ブルツクリンで作つた二分三一秒八であつた。其の後シュミーラーの二分卅一秒四、レオナード・スペインスの二分三〇秒二及二分二五秒八が報ぜられて居るが、正式記録として公認されて居ない。今回のキヤルトンネの記録は此等の非公式記録をも一掃した優秀なものである。佛蘭西の水泳界では此の記録は二〇〇米二分四三秒位相當するもので、レオナード・スペインスの二分四四秒六の公式世界記録を凌駕する實力があると騒いで居るが、五〇米水路にするると二分四七秒位なもので我鶴田、小池兩選手が昨年ロサンヂェレスで作つた二分四五秒四、二分四四秒九、及び小池君が本年六月出した二分四四秒二に比すると一段落ちる。しかしキヤルトンネとしては、昨年は五〇米水路二分五〇秒八が最上であつたから大分強くなつたと云へる。

二〇、500米自由形の世界記録

米國シアトル市のジャック・メヂカ(18年)は本年3月440碼自由形に4:42.4の世界記録を作つて以來スランプに陥つてゐるが室内シーズンの最後に25碼プールに於て500米自由形の世界記録作成を企てて見事之に成功したのみならず途中500碼に於ても世界記録を突破して新記録を作つた。新記録は500碼5:31.4、アルネ・ボルグの公認世界記録の外に本年4月フラナガン(米)ガメドカとの電話競泳の際に作つた未公認新記録5:29:0があるが、兩者共に破つてゐる。500米の舊記録はタリス(佛)の6:01.2

途中時間	100碼0:56.0	200碼2:02.0	300碼3:09.0
	400碼 ?	500碼5:26.6	500米5:58.0

會報

昭和八年八月

N S R

日本水上競技聯盟會報

N S R 日記

- 5月 5日 水球委員會 事務所
 11日 標準泳法委員會 事務所
 15日 神宮管理署員と NRS 常務理事會見
 16日 女子部委員會 事務所
 18日 標準泳法委員會 事務所
 20日 五月定例理事會・在京代議員會事務所
 23日 常務理事會 事務所
 25日 標準泳法委員會 事務所
 27日 編輯委員會 事務所
 29日 常務理事會 事務所
 6月 12日 常務理事會 事務所
 16日 標準泳法委員會 事務所
 19日 米國籠球選手來訪
 21日 競技委員會 朝日新聞社
 29日 理事會 事務所
 30日 第三回水泳指導者講習會打會 事務所
 7月 1日 水泳指導者講習會開始
 慶應病院講堂及神宮プール
 10日 講習會終了

プール公認の件

公認第二十三號 十周年記念三重高農競泳池
 所在地 津市上濱町
 所有者 三重高等農林學校
 公認申請者 三重高等農林學校長 上原種美
 公稱距離 25米 幅15米 水深 1.3米 1.6米
 出發臺の高さ 39.5 糎
 水路數 8 水路巾 2米

昭和八年四月二十五日より昭和拾三年四月二十四日
 迄甲種競泳池として公認さる。

公認第二十四號 大阪商科大学競泳池
 所有者 大阪商科大学
 所在地 大阪市住吉區杉本町
 公認申請者 大阪商科大学
 公稱距離 25米

昭和八年四月二十五日より昭和十三年四月二十四日
 迄甲種競泳池として公認さる。

公認第二十五號 立教大學競泳池
 所在地 東京市豊島郡長崎仲町
 所有者 立教大學水泳部
 公認申請者 立教大學水泳部
 公認距離 50米 幅20米 水深兩端1.3米 中央1.8米
 出發臺の高さ 55糎 水質 水道水
 水路數 9 巾 2米

昭和八年六月二十三日より昭和十三年六月二十二日
 迄甲種競泳池として公認さる。

公認第二十六號 名古屋市振甫游泳場
 所在地 名古屋市東區千種町振甫 122 番地
 所有者 名古屋市水道部
 公認申請者 名古屋市長 大岩勇夫
 公稱距離 50米 幅22米 水深兩端1.5米 中央2.1米
 出發臺の高さ 55糎 水質 水道水
 水路數 9 水路巾 2米

昭和八年六月二十三日より昭和十三年六月二十二日
 迄甲種競泳池として公認さる。

昭和八年度 NSR 専門部委員氏名

昭和八年度各専門部委員は次の如く日本水上競技聯

盟會長末弘嚴太郎氏より任命さる。

競泳技委員 野田一雄(主任)

高石勝男	河石達吾	磯部百男	原 毅
井澤和夫	清川正二	佐原幸一郎	米山 弘
松浦武雄	根來幸成	梅田利兵衛	兒玉 博
外川 正	長谷川俊雄	鶴田義行	宮下利三
磯部勝治	石田恒信	勝田忠彌	佐田徳平
小野田一雄	外上安治	大木直正	村松正一
入谷唯一郎	宮畑虎彦	杉野常雄	馬渡勇喜
木村象雷	岡田辰雄	武村 清	早川貞正
坂本 新	下山美住	横田弘一	林 年松
中村 豊	川口又男	染谷 要	有吉正太郎
島本長一	長尾平太郎	羽田武夫	新徳榮藏
齊藤魏洋			

飛込競技委員 島崎保正(主任)

高階富士夫	内山次郎	太田芳明	四方雄男
水谷泰夫	安東新午	井上一郎	小林一男
原 西三	柴田隆司	中田周三	伊澤光四郎
原 秀夫	生江哲太郎	奥平俊二	岩切盛行
小林龍二郎	角野唯夫	久津壽造	竹原 榮
藤原淳一	郷野敏雄	田中 勝	大田豊明
山崎 實			

水球競技委員 吉本祐一(主任)

澤海車助	時任 嚴	林 正之	坂倉隆吉
笹島彦次郎	廣瀬秀俊	蒔田 明	竹村隆二
石氏政信	清水清秋	平岡良次	村井 清
鈴木 博	廠井二郎	木島小彌太	土井修爾
上野克巳	水野銀次郎	安部輝太郎	丹下良一
宮下利三	越田正晴	土井修爾	眞野國男
自井 誠	松本治一		

標準泳法委員 小松崎三次(主任)

本田 存	原 正一	太田 實	小野原誠一
石本巳四雄	飯田光太郎	三坂直廉	渡邊 延
大澤保三郎	加福均三	齊藤武五郎	白山源三郎
米山 弘	猿橋 正	大串泰造	太田正隆
岡本勁一	佐々木救	上野住太郎	齊藤劍次
芥川正平	河野 司	山田二郎	濱田均二
玉柳良廣	松本英郎	吉松駿四郎	田中慶雄
大澤保三郎			

記録委員 渡邊寛二郎(主任)

飯田光太郎	林 正之	林 好男	山本晴武
入江稔夫	清政武夫	天野重朗	鈴木清藏
大橋國太郎	柴野俊雄	中島正雄	長瀬重茂
館内 勇	長谷川千代治	足立祐次	林 喜男

編輯委員 鶴岡英吉(主任)

白山源三郎	神林英一	日名實三	山内辰雄
-------	------	------	------

水谷新一郎	上野住太郎	柴田隆司	山崎三郎
廣瀬秀俊	池田 清	宍道洋一	山賀みや子
太西芳雄	松岡英雄	堀江耕造	青木 浸
山本晴武	濱田均二	鈴木 博	長瀬重藏
天野一夫	奥田敏男	大谷親之輔	

醫事部委員 太田正隆(主任)

岡本勁一	小村榮三	小島三郎	浦本政三郎
本龍太郎	茂木藏之助	笹島彦次郎	名倉省三
金子魁一	樋口一成	岩田正道	増田胤次
宮下左右輔	深山 泉	稻玉信吾	齊藤 亨
村尾立平	芦原 勝	花岡堅吉	藤野清一
千葉 豊	石田公平	藤井正太郎	

外國關係委員 安部輝太郎(主任)

川口又男	清水 治	小坂善太郎	樋口一成
高見澤榮壽			

女子部委員 湯淺榮子(主任)

江島歌子	栗村住子	市口房子	五月女年子
中川ちえ子	白山廣子	山架みや子	島村はつえ
辻 花子	高橋芳子	國枝みよ子	石渡桂子
大瀬千枝子	松澤初穂	平田文子	横山いと子
佐野綾子	宮島園子	鎌倉悦子	近藤花子
加藤好子	齊藤君子	大澤政代	高石峰子

昭和八年度日本選手権大會細目

1. 第十回極東選手権大會第一次豫選としての注意 本誌前號(第18號)卷頭に掲げたる通り大日本體育協會に於ける極東大會改造案留保となりたるに依り、愈今年度選手権大會は來年の極東大會の第一次豫選會を兼ねる事が確定された譯であるが、既に體育協會宛に達せる比島の正式招待は明年五月十二日より十九日迄マニラに開催される事になつて居る。(此に就き日本として更によい時期に開催する様考慮を求めて居るけれども、恐らく實現の見込が無いであらう)従つて本聯盟としては極東大會の爲の第二次豫選及最終豫選を明年開催するであらうが、何れも時機は三月中旬乃至四月上旬でなければならず、此惡コンディションの下に行はれる豫選會の成績のみに依り代表選手の詮衡をなす事は却つて不公平を來す虞れあり、依つて名目は第一次豫選であつても極東豫選としての本選手権大會は、詮衡の際の價値に於て極めて重要な結果となる事を、各加盟團體の指導的立場にある諸氏は考へられたい。

此は既に前號田畑顧問の記事に於ても注意を喚起されて居るが、各地に於ける新進有爲の競技者諸君をして此のチャンスを逸せしめざる様、本聯盟としても公示して再考を促す次第である。

2. 今年度選手権大會期日變更の件 八月十一日より開催の様決定されてあつたが、前號の緊急公示に記した様に、關東防空大演習の燈火管制實施期日と一致する虞れあり、軍部の計劃を問合せたる結果十二日以降ならば差支へなしとの確答を得たるに依り、理事會に圖り今年度選手権大會を八月十二日、十三日、十四日の三日間とする事に決定した。

3. 選手権大會申込の件 本聯盟加盟團體は昨年度代議員會の決議に依り、必ず選手権大會の地方豫選會を開催する義務を有するが、本大會への申込みは必ず此地方豫選會の結果に従ひ、各加盟團體に於て各競技者の參加の意志を確めて然る後に申込む事
申込用紙は必ず本聯盟所定の用紙を用ふる事、此は各加盟團體まで發送するが、必要あらば直接本聯盟事務所に請求せられ度い。

申込期日は八月三日迄に東京市麴町區丸ビル八〇七の本聯盟事務所に到着する様送附せられたし。

競技種目その他に就ては本誌第17號参照の事。

4. 競技番組順序その他の件 六月廿一日競技委員會に於て決定せる、實施細項は次の如くである。但し實際に申込みの都合に依つては多少の變更は已むを得ないが、大體に於て次の二原則を守る事とす
イ、競泳に於ては、第一日は豫選、第二日は準決勝、第三日を決勝とする事。

ロ、競泳の種目を男女子夫々次の二群に分ち、同一群の種目は相接して行ふが、他群の種目は相當の時間を置いて行ふ。

男子競泳		女子競泳	
第一群	第二群	第一群	第二群
400自	1500自	400自	200自
200背	200自	100自	100背
100自	100背	200平	400リ
100平	200平		

5. 豫定プログラム

第一日(12日)	第二日(13日)	第三日(14日)
男 400自豫選	男 400自準決	男 400自決勝
〃 20背 〃	女 400自豫選	女 400自 〃
〃 100自 〃	男 200背準決	男 200背 〃
〃 100平 〃	〃 100自 〃	男 100自 〃
〃 1500自 〃	女 100自豫選	女 100自 〃
〃 200自 〃	男 100平準選	男 100平 〃
〃 100背 〃	女 200平豫選	女 200平 〃
〃 200平 〃	男 1500自準決	男 1500自 〃
	女 200自豫選	女 200自 〃
	男 200自準決	男 200自 〃
	女 100背選豫	女 100背 〃

男 100背準決	男 100背 決勝
〃 200平準決	〃 200平 〃
〃 800リ豫選	女 400リ 〃
	男 800リ 〃

6. 飛込競技に関する細項 本年は選手権大會に於ては初等飛込種目は行はず。

夜間競技を行ふ設備が出来れば競泳の間に行ひ、若し設備が出来ざる場合には競泳の開始前に舉行

第一日	女子飛板飛込
第二日	男子高飛込 女子高飛込(晝間)
第三日	男子飛板飛込

競技方法。規定飛種目等は全部昭和八年改正の競技規則に依るが、此に就ては新刊の水上競技規程を見られるか、或は前號の本誌記事を参照されたい。

7. 水球に関する細項 競泳開始前に行ふ事、第三日夜間競泳中間に於て一組のエキジビジョンゲームを行ふ。競技規則は改正せられたるものを用ふ。

8. その他 水球或は飛込の開始時間を以て選手権大會の開始時間とし、競泳の開始は午後五時前後とし、終了時間は大體九時半とす。

本聯盟役員異動

本聯盟各譽會計であつた林忠雄氏が全國學生水上競技聯盟主事に選出されたので、兼任する事が出来ず、名譽會計辭任に伴ひ、本聯盟理事會に於て後任は奥野良氏と決定し、競泳競技委員の後任としては同委員會に於て野田一雄氏を推した。尙昭和八年本聯盟規約中に理事渡邊寛二郎氏の脱落を茲に正誤す

日本水上競技聯盟機關雜誌 水 泳 第十九號

定 價 三十 錢 一年六回隔月發行

豫約申込者に限り頒布す (一年前金豫約は送料不要)

廣 告 料 十圓乃至三十五圓

御申込次第詳細回答

昭和八年七月二十八日納本

昭和八年八月 一 日發行

編輯兼發行人 鶴 岡 英 吉

(日本水上競技聯盟代表)

印 刷 者 君 島 潔

印 刷 所 共同印刷株式會社

東京市小石川區久堅町一〇八

發 行 並 所 東京市麴町區丸ビル 807
日本水上競技聯盟編輯事務所
振替貯金東京三九九一九番